龍谷大学 履修要項

2025年度 文学部

最終更新日： 2025年3月10日

2025年度入学生 文学部 メニュー

「教育理念・目的」「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」 >

- 文学部の教育理念・目的 >
- 各学科・専攻の教育理念・目的 >

  真宗学科 > 仏教学科 > 哲学科哲学専攻 > 哲学科教育学専攻 > 歴史学科日本史学専攻 > 歴史学科東洋史学専攻 >

  歴史学科仏教史学専攻 > 歴史学科文化遺産学専攻 > 日本語日本文学科 > 英語英米文学科 >

- 文学部の卒業認定・学位授与の方針針［学士（文学）］ >
- 文学部の教育課程編成・実施の方針 >

文学部の教育目的および履修方法 >

- カリキュラム概念図 >
- 先修制 >
- グレイドナンバー制 >
- 科目ナンバリング >

文学部専攻科目の教育目的および履修方法 >

- 【1】カリキュラムマップ・必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >

【真宗学科カリキュラムマップ】 >	■真宗学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >
【仏教学科カリキュラムマップ】 >	■仏教学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >
【哲学科哲学専攻カリキュラムマップ】 >	■哲学科哲学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >
【哲学科教育学専攻カリキュラムマップ】 >	■哲学科教育学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >
【歴史学科日本史学専攻カリキュラムマップ】 >	■歴史学科日本史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >
【歴史学科東洋史学専攻カリキュラムマップ】 >	■歴史学科東洋史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >
【歴史学科仏教史学専攻カリキュラムマップ】 >	■歴史学科仏教史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >
【歴史学科文化遺産学専攻カリキュラムマップ】 >	■歴史学科文化遺産学専攻 専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >

【日本語日本文化科カリキュラムマップ】 >

■日本語日本文学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >

【英語英米文学カリキュラムマップ】 >

■英語英米文学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >

- 【2】選択専攻科目 開設科目一覧 >
- 【3】随意科目 開設科目一覧 >

ルーブリック・研究科について >

- ルーブリック >

  （1）「ルーブリック」とは > （2）文学部アカデミック・リテラシー・ルーブリック > （3）卒業論文ルーブリック >

- 大学院文学研究科・実践真宗学研究科 >

  （1）大学院 > （2）入学試験 > （3）文学部生の大学院文学研究科開講科目の早期履修制度 >

「教育理念・目的」「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」

文学部の教育理念・目的

建学の精神に基づいて、人文学の知的体系の研究･教授を通じ、現代社会の複雑な変化や諸問題に、自己を見失うことなく積極的･主体的に対応しつつ、社会に貢献できる教養及び専門性を備えた人間を育成することを目的とする。

各学科・専攻の教育理念・目的

真宗学科

親鸞によって開顕された浄土真宗の教義を、浄土教理史・真宗教義学・真宗教学史・真宗伝道学の4分野にわたって探究し、広い視野に立って真宗教義の真理性を明らかにするとともに、現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

仏教学科

インド・中国・日本等の諸地域に及ぶ仏教の多様な展開を「仏教と文化」「仏教と現代」の2つの視座から学ぶことによって専門的知識の修得と論理的洞察力の涵養を図り、現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

哲学科哲学専攻

哲学の歴史を深く学び、他者との対話によってあらゆる物事の本質を考えるとともに、現代の諸科学や社会の動向をも吟味しつつ、哲学的・倫理的・宗教的諸問題の解決に寄与する、論理的洞察力に富んだ人間を育成することを目的とする。

哲学科教育学専攻

深い人間理解に基づいて、教育の本質・方法や社会・文化との関係、個人の発達・成長・学習などについての基本的な考え方・見識を養い、人間本来の生き方や発達のメカニズムなどを追究して、生涯学習社会における実践的課題に応えられる人間を育成することを目的とする。

歴史学科日本史学専攻

日本史の各時代・領域に関する教育・研究を通して、専門知識・技能を修得し、併せて批判的精神と確かな歴史認識をもった歴史的主体として、現代社会に貢献できる人間を育成することを目的とする。

歴史学科東洋史学専攻

中国をはじめ、アジア諸地域の歴史・文化・宗教・言語に関する専門的な知識と技能を修得し、明確な歴史認識をもち、広い視野に立ってアジア全体を深く洞察できる人間を育成することを目的とする。

歴史学科仏教史学専攻

歴史的な視点に立って、仏教が、それぞれの時代・地域の中でどのように受け入れられ展開してきたのかを考察することにより、歴史的主体として現代社会に貢献できる人間を育成することを目的とする。

歴史学科文化遺産学専攻

文化遺産の歴史的意義を考え、将来へと守り伝えるための方法と技法を習得し、地域の文化的媒体として活用できる人材を育成する。あわせて、文化財の調査・研究、その保存と活用を行うための専門教育を通して、仏教美術・寺院建築・仏教儀礼等に向き合い、「建学の精神」を体現した自主的判断能力を持つ感受性の豊かな専門家を育成する。

日本語日本文学科

日本語の正しい理解力、日本の言語文化に関する専門的読解力、論理的思考力、および表現力を修得し、「ことば」によって成り立つ社会の持続的発展に主体的に貢献できる人間を育成することを目的とする。

英語英米文学科

英国・米国をはじめとする英語圏に関する言語・文学・文化についての知識を修得し、広い視野に立って英語圏地域を深く洞察する能力を身に付け、国際化する現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

文学部の卒業認定・学位授与の方針針［学士（文学)］

文学部の「教育理念・目的」を達成していくために、すべての学生に保証する基本的な資質・能力、学位授与に必要とされる単位数及び卒業認定の方針を次に掲げる。

＜文学部の学生に保証する基本的な資質・能力＞

①：建学の精神の具現化	• 建学の精神の意義について理解している。
②：(③の基礎となる)「知識･技能」の修得	• 人間社会において「言葉（ことば)」の持つ影響力について深く理解し、人文学の幅広い知識を身につけている。 • 日本語を正確に理解し、論理的な文章を書くと同時に、自らの見解を分かりやすく伝達するための方法を身につけている。 • 外国語運用能力や豊かな教養を身につけている。
③：(④の基礎となる)「知識･技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力･判断力･表現力等の能力（「思考力･判断力･表現力」)」の発展･向上	• 他者との相互理解を可能とするような対話能力を身につけている。 • 自らが設定した課題について、探求、発見、追究、解決という一連のプロセスを達成する能力を多角的に身につけている。 • 論理的思考力を培い、現代社会が問いかける問題に対して、多角的に思考･判断することができる。
④：主体性をもって多様な人々と協働する態度（「主体性･多様性･協働性」）の発展･向上	• 多様な価値観を認め、言語（ことば）の学修をはじめとした学びを通じて自己の認識を広げ、異なる価値観を受容することができる。 • 他者との交流や異なる価値の受容を通じて、自己を客観視し、他者と協働することができる。 • 社会が必要とする職業観･勤労観と生涯を通した持続的な就業力を身につけている。

＜学位授与に必要とされる単位数及び卒業認定の方法＞

1. 学部に4年以上在学し、所定の科目を履修しその単位を修得した者に対し、学長は教授会の議を経て卒業を認定する。
2. 卒業認定を受けるためには、所定の124単位以上の単位数を必要とする。
3. 卒業年次には、「卒業論文」を提出しなければならない。卒業論文提出後に口述試問を実施し、複数の教員によって厳格な評価を行う。

文学部の教育課程編成・実施の方針

文学部では、卒業時に「教育理念・目的」や、「卒業認定・学位授与の方針」に明示した「学生に保証する基本的な資質・能力」を確実に身につけられるように確かなカリキュラムを編成している。具体的には以下の方針に基づく

＜文学部の教育内容＞

①：建学の精神の具現化	• 建学の精神の意義について理解するために、1年次配当（第1･第2セメスター配当）の「仏教の思想」科目（「仏教の思想A」・「仏教の思想B」）を全学必修科目として開講する。

②：(③の基礎となる)「知識･技能」の修得	• 外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を身につけるために、1年次配当（第1･第2セメスター配当）の言語科目（英語および英語以外の複数の外国語科目）を開講する。 • 諸学の基本を理解し、幅広い教養を身につけるために、1年次配当（第1･第2セメスター配当）の教養科目（人文科学系･社会科学系･自然科学系･スポーツ科学系等）を開講する。 • 人文学に関する知識･技能を身につけるために「普通講義」を開講する。 • 大学での学びの基本的方法や、日本語の文章作成のための能力を育成するために「基礎演習」(1･2年次）を配置する。 • 学生が自主的に設定した学修テーマを追究し、問題解決へと至る知識と技能を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次）および「演習Ⅱ」(4年次）を開講する。 • 文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。
③：(④の基礎となる)「知識･技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力･判断力･表現力等の能力（「思考力･判断力･表現力」)」の発展･向上	• 外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を活用して異文化を理解する能力を身につけるために、2年次配当（第3･第4セメスター配当）の言語科目（英語および英語以外の複数の外国語科目）を開講する。 • 幅広い教養を活用して多角的に思考･判断･表現する能力を身につけるために、2年次配当（第3･第4セメスター配当）の教養科目（人文科学系･社会科学系･自然科学系･スポーツ科学系等）を開講する。 • 学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表やレポート作成等を通じて、課題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次）および「演習Ⅱ」(4年次）を開講する。また、これらの活動を通じて思考力･判断力･表現力を伸張するために「卒業論文」を必修とする。 • 批判的能力やものごとの本質を見極める力を養成するために「基礎演習」「演習」科目を全学年で設置し、「普通講義」等で学んだ知識を現実の社会で活用できる能力を養成する。 • 人文学の専門領域の研究を通じて見いだされた知見をもとに思考力･判断力･表現力を高めるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。
④：主体性をもって多様な人々と協働する態度（「主体性･多様性･協働性」）の発展･向上	• 学生同士がディスカッションを行う中で、知識を構成していけるように、4年間を通じて開講される「基礎演習」「演習」では少人数のクラス編成を行い、TA、学修支援員のサポートによって学生同士が共に学ぶことの意味を探求させられるようにする。 • 学科専攻の枠を超えた科目履修によって人文学の多様な専門領域を学ぶ学生が共に学べるように選択科目を設定する。 • 社会が必要とする職業観･勤労観を醸成し、生涯を通した持続的な就業力を育成するために、「キャリア啓発科目」と「キャリア形成科目」を開設する。

＜教育方法＞

- 学生が自らの学修目的にあわせて各科目の性格やその科目の開講時期（配当セメスター）を考慮しながら系統的に履修できるよう科目（講義･演習･講読･実技･実験･実習等）を開設する。
- 全ての科目は、講義概要･到達目標･講義方法･授業評価の方法･授業計画等を掲載したシラバスに沿って実施する。

＜学修成果の評価＞

- 学修成果の有無やその内容を評価するために、科目の特性に応じて、おおよそ次の4種類の方法のうちのひとつまたは複数を合わせて評価を行う。
  ① 筆答試験による評価
  ② レポート試験による評価
  ③ 実技試験による評価
  ④ 授業への取組状況や小テストなど、担当者が設定する方法による評価
- 卒業論文の評価は、論文評価と口述試問評価によって行う。

文学部の教育目的および履修方法

カリキュラム概念図

〈文学部全体の概念図〉（網掛けは教育学専攻の学生の履修を例にしたもの）

<table>
<tr><th colspan="6">卒業要件124単位</th></tr>
<tr><th>必修専攻科目</th><th>選択専攻科目</th><th rowspan="2">フリーゾーン
20単位</th><th colspan="3">教養教育科目</th></tr>
<tr><td>44単位
（哲学科哲学専攻は48単位）
（歴史学科仏教史学専攻は48単位）
（歴史学科文化遺産学専攻は52単位）</td><td>24単位以上
（哲学科哲学専攻は20単位以上）
（歴史学科仏教史学専攻は20単位以上）
（歴史学科文化遺産学専攻は16単位以上）</td><td>教養科目
20単位以上</td><td>言語科目
12単位以上</td><td>「仏教の思想」科目
４単位以上</td></tr>
<tr><td>真宗学科開設科目
仏教学科開設科目
哲学科哲学専攻開設科目
哲学科教育学専攻開設科目
歴史学科日本史学専攻開設科目
歴史学科東洋史学専攻開設科目
歴史学科仏教史学専攻開設科目
歴史学科文化遺産学専攻開設科目
日本語日本文学科開設科目
英語英米文学科開設科目</td><td>真宗学関係科目
仏教学関係科目
哲学関係科目
教育学関係科目
日本史学関係科目
東洋史学関係科目
仏教史学関係科目
文化遺産学関係科目
日本語日本文学関係科目
英語英米文学関係科目</td><td></td><td>人文科学系科目・社会科学系科目
自然科学系科目・スポーツ科学系科目

人文科学系科目・社会科学系科目・自然科学系科目の各分野から1科目（2単位）以上を修得し、合計20単位以上修得。</td><td>必修外国語科目
（英語・初修外国語）
選択外国語科目</td><td>必修科目（４単位）
仏教の思想Ａ
仏教の思想Ｂ
選択科目
「歎異抄の思想A・B」</td></tr>
</table>

説明

1. 必修専攻科目は、所属する学科•専攻の開設科目の中から、履修規定にしたがって、44単位（哲学科哲学専攻•歴史学科仏教史学専攻は48単位/歴史学科文化遺産学専攻は52単位）を修得してください。
2. 選択専攻科目は、所属する学科•専攻にかかわらず、文学部7学科6専攻の全関係科目の中から24単位（哲学科哲学専攻•歴史学科仏教史学専攻は20単位以上/歴史学科文化遺産学専攻は16単位以上）を修得してください。
3. 選択外国語科目の単位を修得した場合は、教養科目の単位として扱われます。
4. フリーゾーンは、選択専攻科目及び教養科目、選択外国語科目から自由に選択して20単位を修得してください。

〈学科・専攻別の詳細図〉

真宗学科	仏教学科	哲学科 哲学専攻	哲学科 教育学専攻	歴史学科 日本史学専攻	歴史学科 東洋史学専攻	歴史学科 仏教史学専攻	歴史学科 文化遺産学専攻	日本語 日本文学科	英語 英米文学科
教理史コース 教学史コース 教義学コース 伝道学コース	仏教と文化コース 仏教と現代コース							古典文学コース 近代文学コース 情報出版学コース 日本語学コース	英文学コース 米文学コース 英語学コース 英米文化コース
必修専攻科目 44単位	**必修専攻科目 44単位**	**必修専攻科目 48単位**	**必修専攻科目 44単位**	**必修専攻科目 44単位**	**必修専攻科目 44単位**	**必修専攻科目 48単位**	**必修専攻科目 52単位**	**必修専攻科目 44単位**	**必修専攻科目 44単位**

選択専攻科目24単位以上(哲学科哲学専攻・歴史学科仏教史学専攻は20単位以上、歴史学科文化遺産学専攻は16単位以上)

□選択専攻科目として設けられた科目。

□「44単位(哲学科哲学専攻・歴史学科仏教史学専攻は48単位、歴史学科文化遺産学専攻は52単位)を超えて履修する必修専攻科目。

□他学科・専攻の必修専攻科目(「基礎演習」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「卒業論文」「１年次または２年次のみ講読」、英語英米文学科開設科目の「English Listening A·B」「English Academic Writing IA·IB」を除く)。

フリーゾーン（20単位）

選択専攻科目と教養教育科目(教養科目・言語科目・「仏教の思想」科目)から選択してください。

諸課程

- ○教職課程
- ○学校図書館司書教諭課程
- ○図書館司書課程
- ○本願寺派教師資格課程
- ○博物館学芸員課程
- ○社会福祉主事課程
- ○本願寺派学階課程
- ○特別研修講座

【教養教育科目】

教養科目：人文科学系科目・社会科学系科目・自然科学系科目の各分野から1科目(2単位)以上を修得し、合計20単位以上修得。
（人文科学系科目・社会科学系科目・自然科学系科目・スポーツ科学系科目）

言語科目：必修外国語科目〈英語・初修外国語〉（12単位）／選択外国語科目

「仏教の思想」科目(必修：４単位）：仏教の思想Ａ(２単位）仏教の思想Ｂ(２単位）／選択科目「歎異抄の思想A・B」

真宗学科	仏教学科	哲学科 哲学専攻	哲学科 教育学専攻	歴史学科 日本史学専攻	歴史学科 東洋史学専攻	歴史学科 仏教史学専攻	歴史学科 文化遺産学専攻	日本語 日本文学科	英語 英米文学科
合計 124単位	**合計 124単位**	**合計 124単位**	**合計 124単位**	**合計 124単位**	**合計 124単位**	**合計 124単位**	**合計 124単位**	**合計 124単位**	**合計 124単位**

先修制

先修制とは、ある科目を履修する場合に、履修の要件として指定された科目及び単位数の修得を必要とする制度です。これは、その科目の学修成果をより高めるために設けられた「学修の順序」です。
したがって、先修制が設定されている科目とその履修の要件として指定された科目を同一学期に履修することはできません。
先修制が設定されている科目は次のとおりです。

<学部専攻科目>

授業科目	履修の要件となる授業科目および単位数
サンスクリット語仏典入門A2	サンスクリット語仏典入門A1
サンスクリット語仏典入門B2	サンスクリット語仏典入門B1
チベット語仏典入門A2	チベット語仏典入門A1
チベット語仏典入門B2	チベット語仏典入門B1
パーリ語仏典入門B	パーリ語仏典入門A
教育心理学	人間科学概論
認知心理学	人間科学概論
学習心理学	人間科学概論
日本史学演習Ⅰ【歴史学科日本史学専攻】	日本史学基礎演習ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡBの合計8単位のうち、4単位以上修得
日本史学演習Ⅱ【歴史学科日本史学専攻】 卒業論文【歴史学科日本史学専攻】	日本史学基礎演習ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡBの合計8単位
日本語教育実習A,B	日本語教育概論A•日本語教育概論Bのうちいずれか2単位

グレイドナンバー制

文学部で開設される授業科目には、グレイドナンバーが付されています。これは、科目のレベルを簡明に表示したものです。学修計画の設計にあたって、これを参考にしてください。

基　礎 ⟶ 応　用

グレイド	100	200	300	400	500

科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。詳細は、ポータルサイトを確認してください。

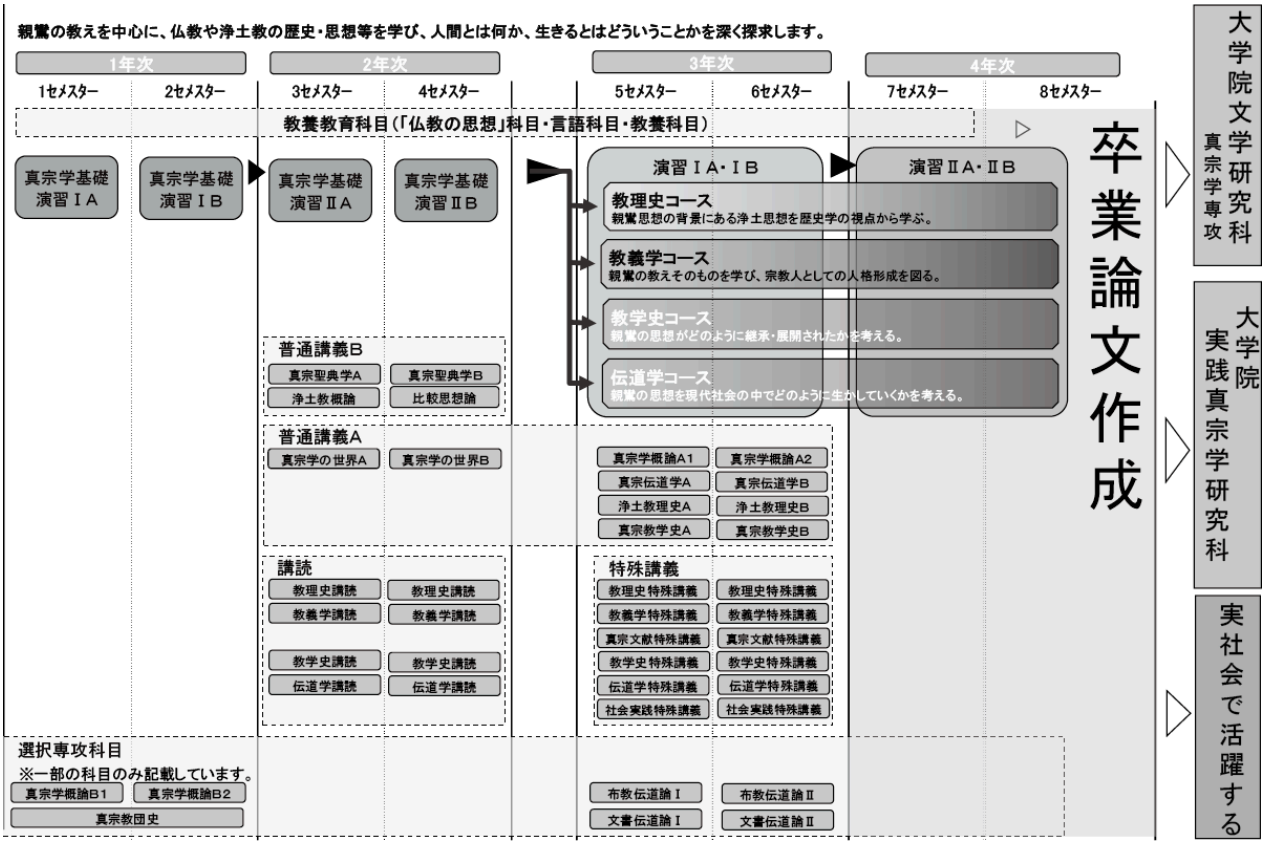
文学部専攻科目の教育目的および履修方法

【1】カリキュラムマップ・必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

学科・専攻の教育理念・目的に基づき、専攻科目を開設しています。前ページ記載の「カリキュラム概念図」でも示しているとおり、所属学科・専攻以外の専攻科目（履修できない科目もあります。詳細はこの項目の各学科・専攻の履修上の注意点を参照してください。）も履修できるため、計画的な履修計画を立てる必要があります。
各学科・専攻の開設科目とともにカリキュラムマップも掲載していますので参考にしてください。

☆年度により、開講されない科目があります。開設科目一覧に掲載されていても、時間割表に掲載されていない場合は、その年度は不開講です。また、科目の開講期も変更となる場合もあります。時間割表をよく確認してください。

【真宗学科カリキュラムマップ】



■真宗学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼真宗学科の教育理念・目的

親鸞によって開顕された浄土真宗の教義を、浄土教理史・真宗教義学・真宗教学史・真宗伝道学の4分野にわたって探究し、広い視野に立って真宗教義の真理性を明らかにするとともに、現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといたる学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義A」において、規定の単位を超えて履修した単位は、「選択専攻科目」となります。選択する科目グループに関しては、基本的に所属する演習分野と同一の科目を履修してください。

・教理史演習 → 浄土教理史A/B

・教学史演習 → 真宗教学史A/B

・伝道学演習 → 真宗伝道学A/B

※教義学演習は特に履修パターンはないため、①~③の科目グループから選択してください。

■「普通講義B」「特殊講義」「講読」において4単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。

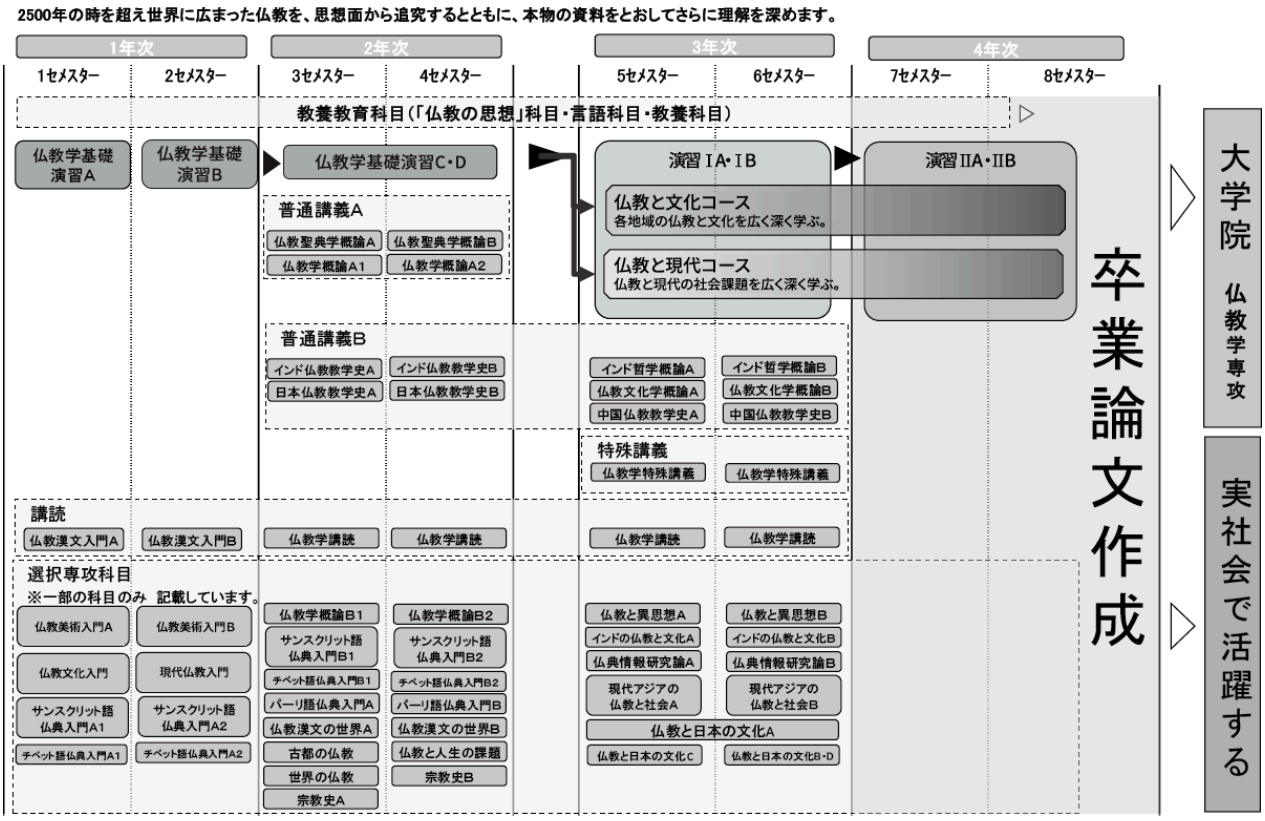
■卒業論文（4単位）は、演習ⅡA及び演習ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

区分	教育課程編成・実施の方針	1年次		2年次		3年次		4年次		履修規定
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
普通講義A	○各学科・専攻の学修を進める上での基礎的・全般的な知識や思考を修得するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。 ○各学科・専攻の専門領域の基礎的な知識・思考を踏まえて人間社会に対する問題意識を醸成するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。			[300] 真宗学の世界A(2)【深草】	[300] 真宗学の世界B(2)【深草】	[400] 真宗学概論A1(2)【大宮】	[400] 真宗学概論A2(2)【大宮】			「真宗学の世界A・B」「真宗学概論A1・A2」4科目8単位をふくむ合計12単位必修
						以下の①②③の科目グループから2科目4単位を履修				
						① [400] 浄土教理史A(2)【大宮】	[400] 浄土教理史B(2)【大宮】			
						② [400] 真宗教学史A(2)【大宮】	[400] 真宗教学史B(2)【大宮】			
						③ [400] 真宗伝道学A(2)【大宮】	[400] 真宗伝道学B(2)【大宮】			
普通講義B				[300] 真宗聖典学A(2)【大宮】	[300] 真宗聖典学B(2)【大宮】					2科目4単位選択必修
				[300] 浄土教概論(2)【大宮】	[300] 比較思想論(2)【大宮】					
特殊講義	1・2年次で学んだ各学科・専攻の専門分野の基本を踏まえて、さらに学修の専門化・深化をはかるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。					[400] 教理史特殊講義A1(2)【大宮】	[400] 教理史特殊講義A2(2)【大宮】			2科目4単位選択必修
						[400] 教理史特殊講義B1(2)【大宮】	[400] 教理史特殊講義B2(2)【大宮】			
						[400] 教義学特殊講義A1(2)【大宮】	[400] 教義学特殊講義A2(2)【大宮】			
						[400] 教義学特殊講義B1(2)【大宮】	[400] 教義学特殊講義B2(2)【大宮】			
						[400]真宗文献特殊講義A(2)【大宮】	[400]真宗文献特殊講義B(2)【大宮】			
						[400] 教学史特殊講義A1(2)【大宮】	[400] 教学史特殊講義A2(2)【大宮】			
						[400] 教学史特殊講義B1(2)【大宮】	[400] 教学史特殊講義B2(2)【大宮】			
						[400] 伝道学特殊講義A1(2)【大宮】	[400] 伝道学特殊講義A2(2)【大宮】			
						[400] 伝道学特殊講義B1(2)【大宮】	[400] 伝道学特殊講義B2(2)【大宮】			
						[400] 社会実践特殊講義A(2)【大宮】	[400] 社会実践特殊講義B(2)【大宮】			
講読	各学科・専攻の専門分野の基礎的な文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。			[300] 教理史講読A1(2)【深草】	[300] 教理史講読A2(2)【深草】					2科目4単位選択必修
				[300] 教理史講読B1(2)【大宮】	[300] 教理史講読B2(2)【大宮】					
				[300] 教理史講読C1(2)【大宮】	[300] 教理史講読C2(2)【大宮】					
				[300] 教義学講読A1(2)【深草】	[300] 教義学講読A2(2)【深草】					
				[300] 教義学講読B1(2)【大宮】	[300] 教義学講読B2(2)【大宮】					
				[300] 教義学講読C1(2)【大宮】	[300] 教義学講読C2(2)【大宮】					
				[300] 教義学講読D1(2)【大宮】	[300] 教義学講読D2(2)【大宮】					
				[300] 教義学講読E1(2)【深草】	[300] 教義学講読E2(2)【深草】					
				[300] 教学史講読A1(2)【深草】	[300] 教学史講読A2(2)【深草】					
				[300] 教学史講読B1(2)【大宮】	[300] 教学史講読B2(2)【大宮】					
				[300] 伝道学講読A1(2)【深草】	[300] 伝道学講読A2(2)【深草】					
				[300] 伝道学講読B1(2)【大宮】	[300] 伝道学講読B2(2)【大宮】					
				[300] 伝道学講読C1(2)【大宮】	[300] 伝道学講読C2(2)【大宮】					
基礎演習	「読むこと」「書くこと」「探すこと」「発表すること」等、大学での学びの基本的方法やツール等を習得し、基礎的学修能力を養成するために、「基礎演習」(1・2年次)を開講する。	[100] 真宗学基礎演習ⅠA(2)【深草】	[200] 真宗学基礎演習ⅠB(2)【深草】	[300] 真宗学基礎演習ⅡA(2)【深草】	[300] 真宗学基礎演習ⅡB(2)【深草】					4科目8単位必修
演習Ⅰ	学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表とディスカッション、レポート作成等を通じて、課題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次)および「演習Ⅱ」(4年次)を開講する。					[400] 教理史演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 教理史演習ⅠB(2)【大宮】			2科目4単位選択必修。 同一分野(教理史、教義学、教学史、伝道学)でⅠA・ⅠBを履修すること。
						[400] 教義学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 教義学演習ⅠB(2)【大宮】			
						[400] 教学史演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 教学史演習ⅠB(2)【大宮】			
						[400] 伝道学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 伝道学演習ⅠB(2)【大宮】			
演習Ⅱ 卒業論文								[500] 卒業論文(4)【大宮】		卒業論文4単位及び、同一分野の演習ⅡA・ⅡB(教理史、教義学、教学史、伝道学)の4単位、合計8単位必修。
								[500] 教理史演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 教理史演習ⅡB(2)【大宮】	
								[500] 教義学演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 教義学演習ⅡB(2)【大宮】	
								[500] 教学史演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 教学史演習ⅡB(2)【大宮】	
								[500] 伝道学演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 伝道学演習ⅡB(2)【大宮】	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【仏教学科カリキュラムマップ】



■仏教学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼仏教学科の教育理念・目的

インド・中国・日本等の諸地域に及ぶ仏教の多様な展開を「仏教と文化」「仏教と現代」の2つの視座から学ぶことによって専門的知識の修得と論理的洞察力の涵養を図り、現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといたる学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義B」「特殊講義」「講読」において4単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。

■仏教学基礎演習C・Dはクラスにより履修登録を行う順番が異なります。時間割表で登録する科目を確認してください。

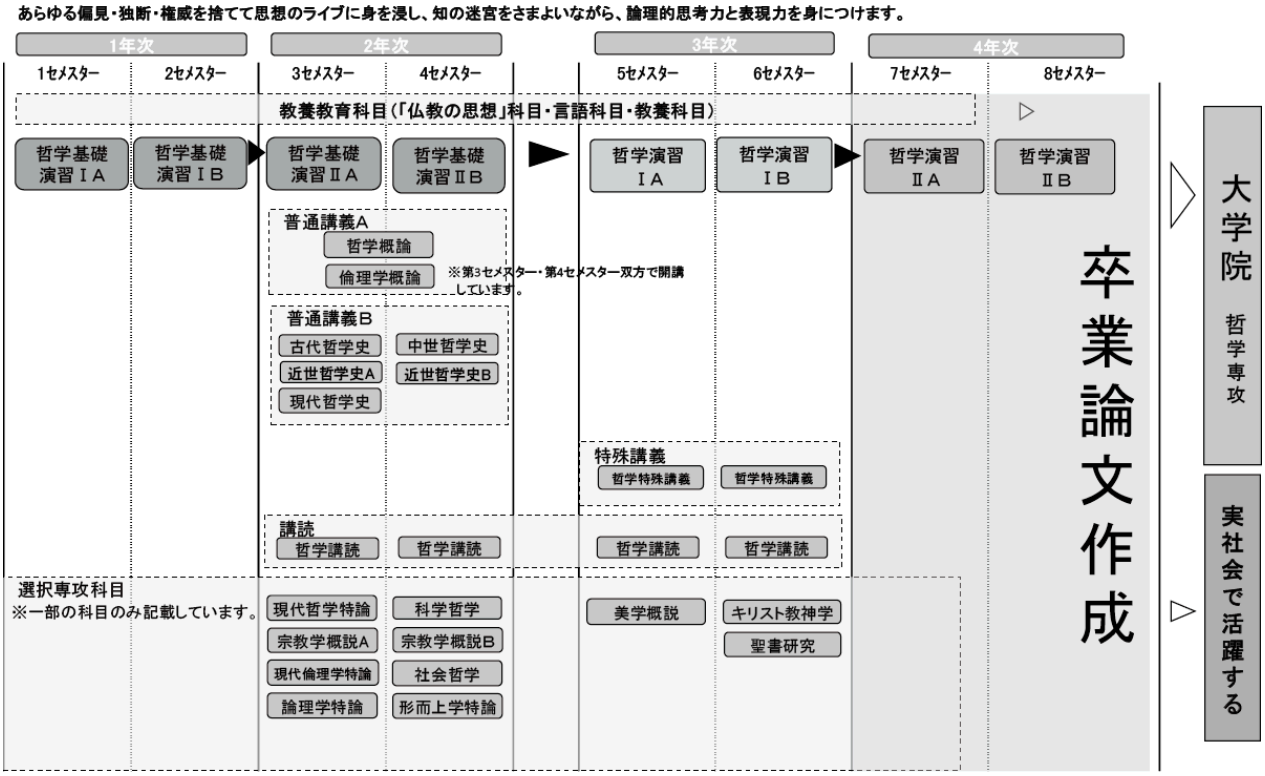
■卒業論文（4単位）は、仏教学演習Ⅱを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

区分	教育課程編成・実施の方針	1年次 第1セメスター	1年次 第2セメスター	2年次 第3セメスター	2年次 第4セメスター	3年次 第5セメスター	3年次 第6セメスター	4年次 第7セメスター	4年次 第8セメスター	履修規定
普通講義A	○各学科・専攻の学修を進める上での基礎的・全般的な知識や思考を修得するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。			[300] 仏教聖典学概論A(2)【大宮】	[300] 仏教聖典学概論B(2)【大宮】					4科目8単位必修
				[300] 仏教学概論A1(2)【大宮】	[300] 仏教学概論A2(2)【大宮】					
普通講義B	○各学科・専攻の専門領域の基礎的な知識・思考を踏まえて人間社会に対する問題意識を醸成するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。			[300] インド仏教教学史A(2)【深草】	[300] インド仏教教学史B(2)【深草】	[400] インド哲学概論A(2)【大宮】	[400] インド哲学概論B(2)【大宮】			2科目4単位選択必修
				[300] 日本仏教教学史A(2)【深草】	[300] 日本仏教教学史B(2)【深草】	[400] 仏教文化学概論A(2)【大宮】	[400] 仏教文化学概論B(2)【大宮】			
						[400] 中国仏教教学史A(2)【大宮】	[400] 中国仏教教学史B(2)【大宮】			
特殊講義	1・2年次で学んだ各学科・専攻の専門分野の基本を踏まえて、さらに学修の専門化・深化をはかるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。					[400] 仏教学特殊講義A1 (2)【大宮】	[400] 仏教学特殊講義A2 (2)【大宮】			2科目4単位選択必修
						[400] 仏教学特殊講義B1 (2)【大宮】	[400] 仏教学特殊講義B2 (2)【大宮】			
						[400] 仏教学特殊講義C1 (2)【大宮】	[400] 仏教学特殊講義C2 (2)【大宮】			
						[400] 仏教学特殊講義D1 (2)【大宮】	[400] 仏教学特殊講義D2 (2)【大宮】			
						[400] 仏教学特殊講義E1 (2)【大宮】	[400] 仏教学特殊講義E2 (2)【大宮】			
						[400] 仏教学特殊講義F1 (2)【大宮】	[400] 仏教学特殊講義F2 (2)【大宮】			
						[400] 仏教学特殊講義G1 (2)【大宮】	[400] 仏教学特殊講義G2 (2)【大宮】			
						[400] 仏教学特殊講義H1 (2)【大宮】	[400] 仏教学特殊講義H2 (2)【大宮】			
						[400] 仏教学特殊講義I1 (2)【大宮】	[400] 仏教学特殊講義I2 (2)【大宮】			
講読	各学科・専攻の専門分野の基礎的な文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。	[100] 仏教漢文入門A (2)【深草】	[200] 仏教漢文入門B (2)【深草】	[300] 仏教学講読A1 (2)【大宮】	[300] 仏教学講読A2 (2)【大宮】	[600] 仏教学講読E1 (2)【大宮】	[600] 仏教学講読E2 (2)【大宮】			「仏教漢文入門A」「仏教漢文入門B」4単位と講読科目の中から4単位選択必修の合計8単位必修。
				[300] 仏教学講読B1 (2)【大宮】	[300] 仏教学講読B2 (2)【大宮】	[600] 仏教学講読I1 (2)【大宮】	[600] 仏教学講読I2 (2)【大宮】			
				[300] 仏教学講読C1 (2)【大宮】	[300] 仏教学講読C2 (2)【大宮】					
				[300] 仏教学講読D1 (2)【大宮】	[300] 仏教学講読D2 (2)【大宮】					
				[300] 仏教学講読F1 (2)【大宮】	[300] 仏教学講読F2 (2)【大宮】					
				[300] 仏教学講読G1 (2)【大宮】	[300] 仏教学講読G2 (2)【大宮】					
				[300] 仏教学講読H1 (2)【大宮】	[300] 仏教学講読H2 (2)【大宮】					
基礎演習	「読むこと」「書くこと」「探すこと」「発表すること」等、大学での学びの基本的方法やツール等を習得し、基礎的学修能力を養成するために、「基礎演習」(1・2年次)を開講する。	[100] 仏教学基礎演習A(2)【深草】	[200]仏教学基礎演習B(2)【深草】	C・Dはクラスにより履修登録を行う順番が異なります。時間割表で登録する科目を確認してください。						4科目8単位必修
				[300]仏教学基礎演習C(2)【深草】	[300] 仏教学基礎演習D(2)【深草】					
演習Ⅰ	学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表とディスカッション、レポート作成等を通じて、課題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次)および「演習Ⅱ」(4年次)を開講する。					[400] 仏教学演習 I A (2)【大宮】	[400] 仏教学演習 I B (2)【大宮】			1科目4単位必修
演習Ⅱ 卒業論文								[500] 卒業論文 (4)【大宮】		2科目8単位必修
								[500] 仏教学演習 II A (2)【大宮】	[500] 仏教学演習 II B (2)【大宮】	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【哲学科哲学専攻カリキュラムマップ】



■哲学科哲学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼哲学科哲学専攻の教育理念・目的

哲学の歴史を深く学び、他者との対話によってあらゆる物事の本質を考えるとともに、現代の諸科学や社会の動向をも吟味しつつ、哲学的・倫理的・宗教的諸問題の解決に寄与する、論理的洞察力に富んだ人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといたる学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義A」「普通講義B」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。

■卒業論文（4単位）は、演習ⅡA及び演習ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

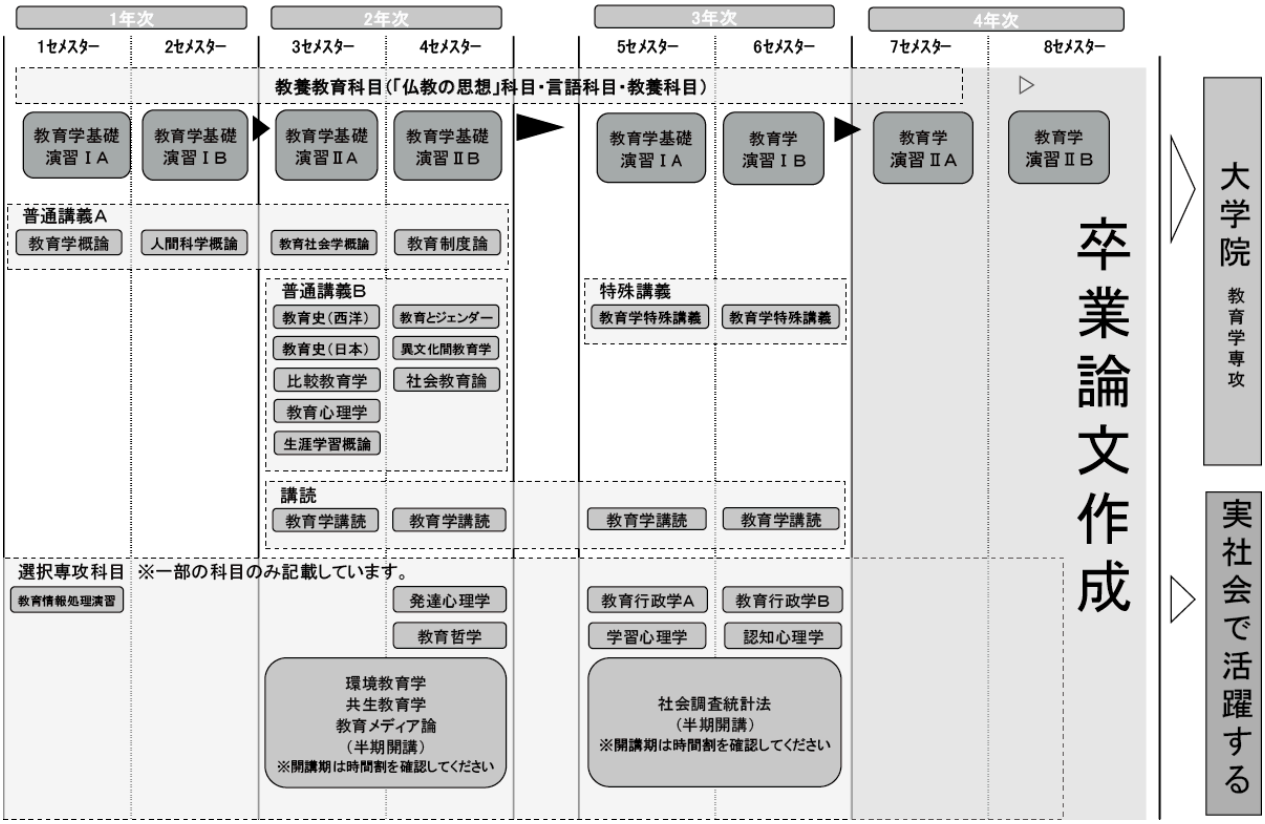
※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

区分	教育課程編成・実施の方針	1年次 第1セメスター	1年次 第2セメスター	2年次 第3セメスター	2年次 第4セメスター	3年次 第5セメスター	3年次 第6セメスター	4年次 第7セメスター	4年次 第8セメスター	履修規定
普通講義A	○各学科・専攻の学修を進める上での基礎的・全般的な知識や思考を修得するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。 ○各学科・専攻の専門領域の基礎的な知識・思考を踏まえて人間社会に対する問題意識を醸成するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。			[300] 哲学概論(2)【大宮】	[300] 倫理学概論 (2)【大宮】					2科目4単位必修
				※上記2科目は、第3セメスター・第4セメスターとも開講します。						
普通講義B				[300] 古代哲学史(2)【大宮】	[300] 中世哲学史 (2)【大宮】					4科目8単位選択必修
				[300]近世哲学史A(2)【大宮】	[300] 近世哲学史B(2)【大宮】					
				[400]現代哲学史 (2)【大宮】						
				※年度によって開講期の変更あり						
特殊講義	1・2年次で学んだ各学科・専攻の専門分野の基本を踏まえて、さらに学修の専門化・深化をはかるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。					[600] 哲学特殊講義(A)A (2)【大宮】	[600] 哲学特殊講義(A)B (2)【大宮】			3科目6単位選択必修
						[600] 哲学特殊講義(B)A (2)【大宮】	[600] 哲学特殊講義(B)B (2)【大宮】			
						[600] 哲学特殊講義(C)A (2)【大宮】	[600] 哲学特殊講義(C)B (2)【大宮】			
						[400] 哲学特殊講義(D)A (2)【大宮】	[400] 哲学特殊講義(D)B (2)【大宮】			
						[400] 哲学特殊講義(E)A (2)【大宮】	[400] 哲学特殊講義(E)B (2)【大宮】			
講読	各学科・専攻の専門分野の基礎的な文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。			[300] 哲学講読G1(2)【深草】	[300] 哲学講読G2(2)【深草】	[400] 哲学講読A1 (2)【大宮】	[400] 哲学講読A2 (2)【大宮】			5科目10単位選択必修。 年次指定(2年次のみ)4単位修得した上で(3年次以上)履修可能な講読6単位の修得が望ましいが、年次指定が(2年次のみ)の「講読」を修得できなかった場合は、年次指定(3年次以上)の科目を修得し、合計10単位修得しなければなりません。なお、(2年次のみ)の講読は、4単位まで講読分野の卒業要件単位とし、4単位を超えて修得した場合は選択専攻科目とする。
				《2年次のみ》	《2年次のみ》	[400] 哲学講読B1 (2)【大宮】	[400] 哲学講読B2 (2)【大宮】			
				[300] 哲学講読H1(2)【深草】	[300] 哲学講読H2(2)【深草】	[400] 哲学講読C1 (2)【大宮】	[400] 哲学講読C2 (2)【大宮】			
				《2年次のみ》	《2年次のみ》	[400] 哲学講読D1 (2)【大宮】	[400] 哲学講読D2 (2)【大宮】			
				[300] 哲学講読I1(2)【深草】	[300] 哲学講読Ⅰ2(2)【深草】	[400] 哲学講読E1 (2)【大宮】	[400] 哲学講読E2 (2)【大宮】			
				《2年次のみ》	《2年次のみ》	[400] 哲学講読F1 (2)【大宮】	[400] 哲学講読F2 (2)【大宮】			
						[400] 哲学講読J1 (2)【大宮】	[400] 哲学講読J2 (2)【大宮】			
基礎演習	「読むこと」「書くこと」「探すこと」「発表すること」等、大学での学びの基本的方法やツール等を習得し、基礎的学修能力を養成するために、「基礎演習」(1・2年次)を開講する。	[100] 哲学基礎演習ⅠA (2)【深草】	[200] 哲学基礎演習Ⅰ B (2)【深草】	[300] 哲学基礎演習ⅡA (2)【深草】	[300] 哲学基礎演習Ⅱ B (2)【深草】					4科目8単位必修
演習Ⅰ	学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表とディスカッション、レポート作成等を通じて、課題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次)および「演習Ⅱ」(4年次)を開講する。					[400] 哲学演習ⅠA (2)【大宮】	[400] 哲学演習Ⅰ B (2)【大宮】			2科目4単位必修
演習Ⅱ 卒業論文								[500] 卒業論文 (4)【大宮】		3科目8単位必修
								[500] 哲学演習ⅡA (2)【大宮】	[500] 哲学演習Ⅱ B (2)【大宮】	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【哲学科教育学専攻カリキュラムマップ】

教育のあり方や教育と社会・文化の関係、心理学などについて、これまでの知見を重んじつつ時代に応じた見識と実践力を養います。



■哲学科教育学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼哲学科教育学専攻の教育理念・目的

深い人間理解に基づいて、教育の本質・方法や社会・文化との関係、個人の発達・成長・学習などについての基本的な考え方・見識を

養い、人間本来の生き方や発達のメカニズムなどを追究して、生涯学習社会における実践的課題に応えられる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといたる学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義B」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。

■卒業論文（4単位）は、演習ⅡA及び演習ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

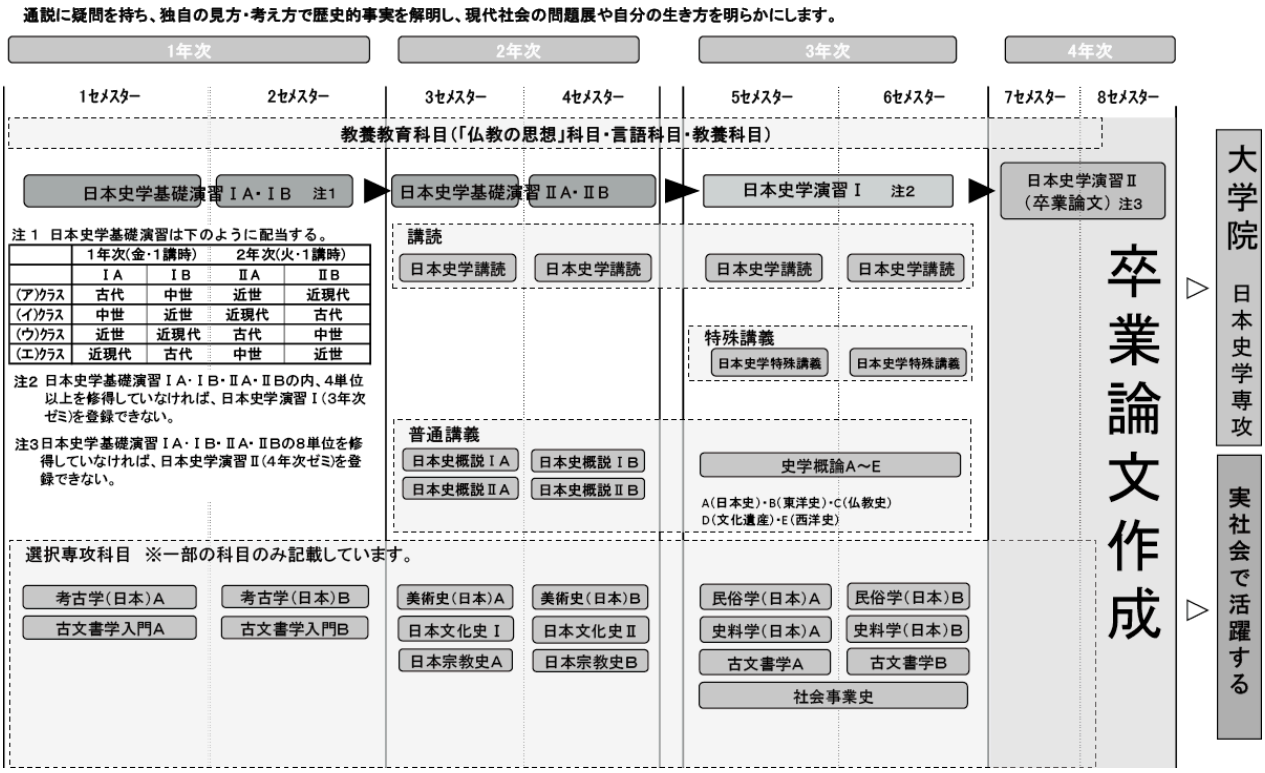
■「教育学講読」は同一セメスターにおける登録の上限は2単位までとします。

※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

区分	教育課程編成・実施の方針	1年次		2年次		3年次		4年次		履修規定
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
普通講義A		[100]教育学概論(2)【深草】	[100]人間科学概論(2)【深草】	[200]教育社会学概論(2)【深草】	[300]教育制度論(2)【深草】					4科目8単位必修
普通講義B	○各学科・専攻の学修を進める上での基礎的・全般的な知識や思考を修得するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。 ○各学科・専攻の専門領域の基礎的な知識・思考を踏まえて人間社会に対する問題意識を醸成するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。			[300]教育史(西洋)(2)【大宮】	[300]教育とジェンダー(2)【大宮】					4科目8単位選択必修 ■「教育心理学」の受講にあたっては、「人間科学概論」の単位を修得していなければ履修することができません。
				[300]教育史(日本)(2)【大宮】	[300]異文化間教育学(2)【大宮】					
				[300]比較教育学(2)【大宮】	[300]社会教育論(2)【大宮】					
				[200]教育心理学(2)【大宮】						
				[300]生涯学習概論(2)【大宮】						
特殊講義	1・2年次で学んだ各学科・専攻の専門分野の基本を踏まえて、さらに学修の専門化・深化をはかるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。					[500] 教育学特殊講義(A)A(2)【大宮】	[500] 教育学特殊講義(A)B(2)【大宮】			2科目4単位選択必修
						[500] 教育学特殊講義(B)A(2)【大宮】	[500] 教育学特殊講義(B)B(2)【大宮】			
						[500] 教育学特殊講義(C)A(2)【大宮】	[500] 教育学特殊講義(C)B(2)【大宮】			
						[500] 教育学特殊講義(D)A(2)【大宮】	[500] 教育学特殊講義(D)B(2)【大宮】			
						[500] 教育学特殊講義(E)A(2)【大宮】	[500] 教育学特殊講義(E)B(2)【大宮】			
						[500] 教育学特殊講義(F)A(2)【大宮】	[500] 教育学特殊講義(F)B(2)【大宮】			
						[500] 教育学特殊講義(G)A(2)【大宮】	[500] 教育学特殊講義(G)B(2)【大宮】			
						[500] 教育学特殊講義(H)A(2)【大宮】	[500] 教育学特殊講義(H)B(2)【大宮】			
						[500] 教育学特殊講義(I)A(2)【大宮】	[500] 教育学特殊講義(I)B(2)【大宮】			
						[500] 教育学特殊講義(X)A(2)【大宮】	[500] 教育学特殊講義(X)B(2)【大宮】			
講読	各学科・専攻の専門分野の基礎的な文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。			[300] 教育学講読C1(2)【深草】	[300] 教育学講読C2(2)【深草】	[400] 教育学講読A1(2)【大宮】	[400] 教育学講読A2(2)【大宮】			1・2それぞれから1科目2単位（計2科目4単位）選択必修
				[300] 教育学講読D2(2)【深草】	[300] 教育学講読D1(2)【深草】	[400] 教育学講読B2(2)【大宮】	[400] 教育学講読B1(2)【大宮】			
基礎演習	「読むこと」「書くこと」「探すこと」「発表すること」等、大学での学びの基本的方法やツール等を習得し、基礎的学修能力を養成するために、「基礎演習」（1・2年次）を開講する。	[100] 教育学基礎演習ⅠA(2)【深草】	[200] 教育学基礎演習ⅠB(2)【深草】	[300] 教育学基礎演習ⅡA(2)【深草】	[300] 教育学基礎演習ⅡB(2)【深草】					4科目8単位必修
演習Ⅰ	学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表とディスカッション、レポート作成等を通じて、諸題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」（3年次）および「演習Ⅱ」（4年次）を開講する。					[400] 教育学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 教育学演習ⅠB(2)【大宮】			2科目4単位選択必修。 同一分野（教育学・教育心理学）でⅠA・ⅠBを履修すること。
						[400] 教育心理学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 教育心理学演習ⅠB(2)【大宮】			
演習Ⅱ 卒業論文						[500] 卒業論文(4)【大宮】				卒業論文4単位及び、同一分野の演習ⅡA・ⅡB（教育学・教育心理学）の4単位、合計8単位必修。
								[500] 教育学演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 教育学演習ⅡB(2)【大宮】	
								[500] 教育心理学演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 教育心理学演習ⅡB(2)【大宮】	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【歴史学科日本史学専攻カリキュラムマップ】



■歴史学科日本史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼歴史学科日本史学専攻の教育理念・目的

日本史の各時代・領域に関する教育・研究を通して、専門知識・技能を修得し、併せて批判的精神と確かな歴史認識をもった歴史的主体として、現代社会に貢献できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといたる学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義」のうち「史学概論A~E」を、2科目4単位を超えて修得した単位、または「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は、「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。

■「日本史学演習Ⅰ」「日本史学演習Ⅱ」「卒業論文」の先修要件について

① 「日本史学演習Ⅰ」の履修については、前年次までに「日本史学基礎演習ⅠA~ⅡB」の中から4単位以上を修得していること。

② 「卒業論文」「日本史学演習Ⅱ」の履修については、前年次までに「日本史学基礎演習ⅠA~ⅡB」の8単位を修得していること。

■卒業論文（4単位）は、日本史学演習Ⅱを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

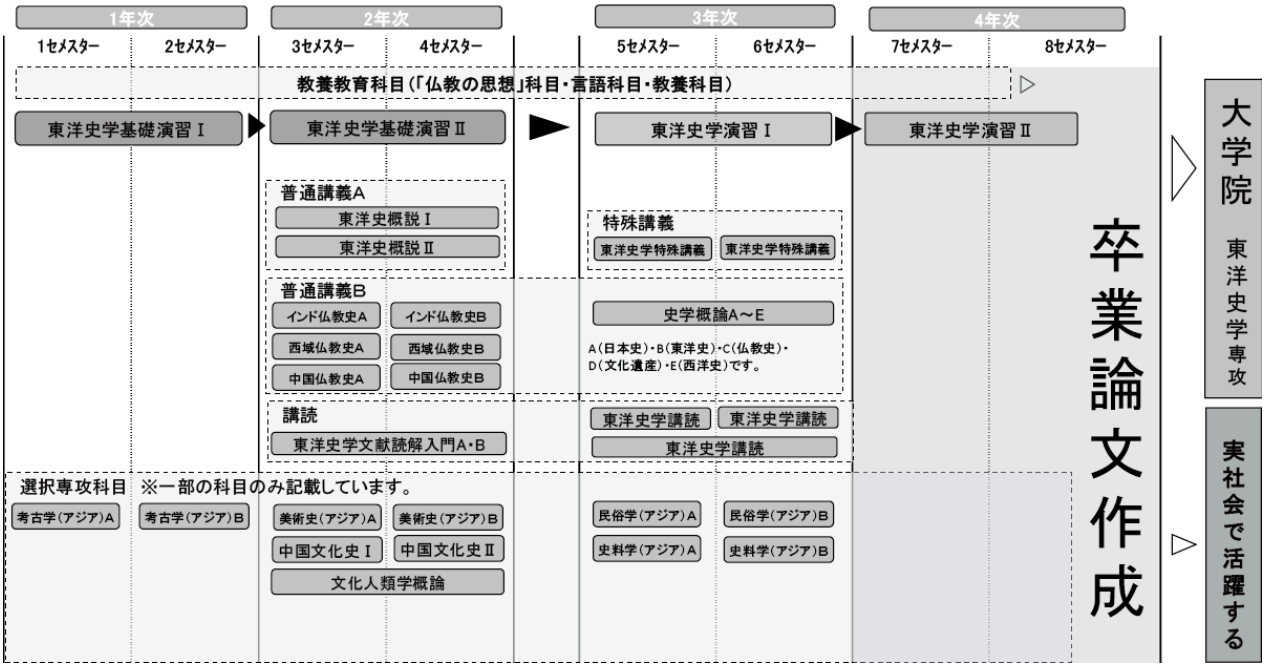
※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

区分	教育課程編成・実施の方針	1年次		2年次		3年次		4年次		履修規定
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
普通講義	○各学科・専攻の学修を進める上での基礎的・全般的な知識や思考を修得するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。 ○各学科・専攻の専門領域の基礎的な知識・思考を踏まえて人間社会に対する問題意識を醸成するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。			[300] 日本史概説ⅠA (2)【大宮】 [300] 日本史概説ⅡA (2)【大宮】	[300] 日本史概説ⅠB (2)【大宮】 [300] 日本史概説ⅡB (2)【大宮】	[400] 史学概論A(2)【大宮】 [400] 史学概論C(2)【大宮】 [400] 史学概論E(2)【大宮】	[400] 史学概論B(2)【大宮】 [400] 史学概論D(2)【大宮】			史学概論A～Eのうち2科目4単位を含む12単位必修
特殊講義	1・2年次で学んだ各学科・専攻の専門分野の基本を踏まえて、さらに学修の専門化・深化をはかるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。					[400] 日本史学特殊講義(A)A (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(B)A (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(C)A (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(D)A (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(E)A (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(F)A (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(G)A (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(H)A (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(I)A (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(J)A (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(K)A (2)【大宮]	[400] 日本史学特殊講義(A)B (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(B)B (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(C)B (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(D)B (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(E)B (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(F)B (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(G)B (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(H)B (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(I)B (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(J)B (2)【大宮] [400] 日本史学特殊講義(K)B (2)【大宮]			2科目4単位選択必修
講読	各学科・専攻の専門分野の基礎的な文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。			[300] 日本史学講読F1 (2)【深草] [300] 日本史学講読G1 (2)【深草]	[300] 日本史学講読F2 (2)【深草] [300] 日本史学講読G2 (2)【深草]	[400] 日本史学講読A1 (2)【大宮] [400] 日本史学講読B1 (2)【大宮] [400] 日本史学講読C1 (2)【大宮] [400] 日本史学講読D1 (2)【大宮] [400] 日本史学講読E1 (2)【大宮] [400] 日本史学講読H1 (2)【大宮]	[400] 日本史学講読A2 (2)【大宮] [400] 日本史学講読B2 (2)【大宮] [400] 日本史学講読C2 (2)【大宮] [400] 日本史学講読D2 (2)【大宮] [400] 日本史学講読E2 (2)【大宮] [400] 日本史学講読H2 (2)【大宮]			4科目8単位選択必修
基礎演習	「読むこと」「書くこと」「探すこと」「発表すること」等、大学での学びの基本的方法やツール等を習得し、基礎的学修能力を養成するために、「基礎演習」(1・2年次)を開講する。	[200] 日本史学基礎演習ⅠA(2)【深草]	[200] 日本史学基礎演習ⅠB(2)【深草]	[300] 日本史学基礎演習ⅡA(2)【深草]	[300] 日本史学基礎演習ⅡB(2)【深草]					4科目8単位必修
演習Ⅰ	学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表とディスカッション、レポート作成等を通じて、課題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次)および「演習Ⅱ」(4年次)を開講する。					[400] 日本史学演習Ⅰ(4)【大宮]				1科目4単位必修
演習Ⅱ 卒業論文								[500] 卒業論文(4)【大宮] [500] 日本史学演習Ⅱ(4)【大宮]		2科目8単位必修

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【歴史学科東洋史学専攻カリキュラムマップ】

漢字文化圏やイスラーム文化圏の諸言語を習得しながら、広大なアジア全域の歴史・文化を学び、研究を深めます。



■歴史学科東洋史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼歴史学科東洋史学専攻の教育理念・目的

中国をはじめ、アジア諸地域の歴史・文化・宗教・言語に関する専門的な知識と技能を修得し、明確な歴史認識をもち、広い視野に立ってアジア全体を深く洞察できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといたる学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義B」「特殊講義」「講読」(「東洋史学文献読解入門A・B」を除く)において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読（A)」を修得した次年度に「講読（A)」を再度履修登録することができます。

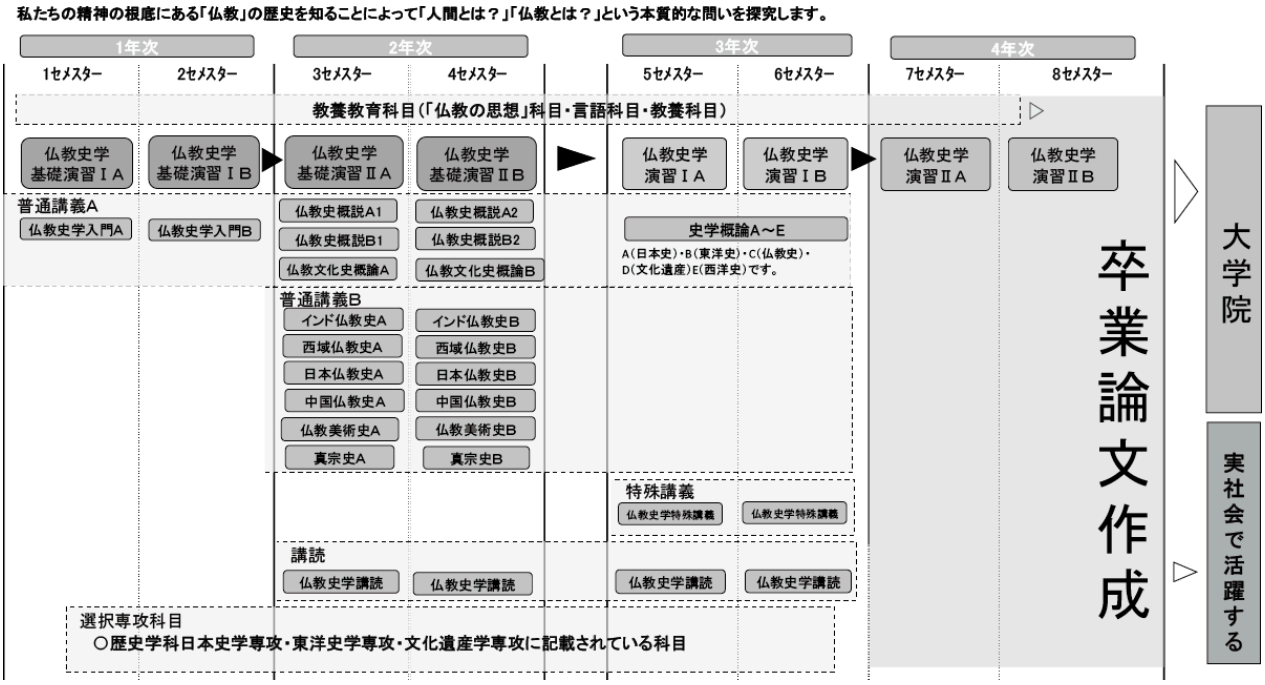
■卒業論文（4単位）は、東洋史学演習 II を同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

区分	教育課程編成・実施の方針	1年次		2年次		3年次		4年次		履修規定
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
普通講義A	○各学科・専攻の学修を進める上での基礎的・全般的な知識や思考を修得するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。 ○各学科・専攻の専門領域の基礎的な知識・思考を踏まえて人間社会に対する問題意識を醸成するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。			[300] 東洋史概説Ⅰ(4)【大宮】						2科目8単位必修
				[300] 東洋史概説Ⅱ(4)【大宮】						
普通講義B				[300] インド仏教史A(2)【大宮】	[300] インド仏教史B(2)【大宮】	[400] 史学概論A(2)【大宮】	[400] 史学概論B(2)【大宮】			2科目4単位選択必修
				[300] 西域仏教史A(2)【大宮】	[300] 西域仏教史B(2)【大宮】	[400] 史学概論C(2)【大宮】	[400] 史学概論D(2)【大宮】			
				[300] 中国仏教史A(2)【大宮】	[300] 中国仏教史B(2)【大宮】	[400] 史学概論E(2)【大宮】				
特殊講義	・1・2年次で学んだ各学科・専攻の専門分野の基本を踏まえて、さらに学修の専門化・深化をはかるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。					[600] 東洋史学特殊講義(A)A (2)【大宮】	[600] 東洋史学特殊講義(A)B (2)【大宮】			2科目4単位選択必修
						[600] 東洋史学特殊講義(B)A (2)【大宮】	[600] 東洋史学特殊講義(B)B (2)【大宮】			
						[600] 東洋史学特殊講義(C)A (2)【大宮】	[600] 東洋史学特殊講義(C)B (2)【大宮】			
						[600] 東洋史学特殊講義(D)A (2)【大宮】	[600] 東洋史学特殊講義(D)B (2)【大宮】			
						[600] 東洋史学特殊講義(E)A (2)【大宮】	[600] 東洋史学特殊講義(E)B (2)【大宮】			
						[600] 東洋史学特殊講義(F)A (2)【大宮】	[600] 東洋史学特殊講義(F)B (2)【大宮】			
						[600] 東洋史学特殊講義(G)A (2)【大宮】	[600] 東洋史学特殊講義(G)B (2)【大宮】			
						[600] 東洋史学特殊講義(H)A (2)【大宮】	[600] 東洋史学特殊講義(H)B (2)【大宮】			
講読	各学科・専攻の専門分野の基礎的な文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。			[300]東洋史学文献読解入門A(2)【深草】	[300]東洋史学文献読解入門B(2)【深草】	[400] 東洋史学講読(A) (4)【大宮】				「東洋史学文献読解入門A」「東洋史学文献読解入門B」4単位と3年次以上配当」の講読科目の中から4単位選択必修の合計8単位必修。
						[400] 東洋史学講読(B) (4)【大宮】				
						[600] 東洋史学講読(C)A (2)【大宮】	[600] 東洋史学講読(C)B (2)【大宮】			
						[400] 東洋史学講読(D)A (2)【大宮】	[400] 東洋史学講読(D)B (2)【大宮】			
						[600] 東洋史学講読(E)A (2)【大宮】	[600] 東洋史学講読(E)B (2)【大宮】			
						[400] 東洋史学講読(H) (4)【大宮】				
						[400] 東洋史学講読(I)A (2)【大宮】	[400] 東洋史学講読(I)B (2)【大宮】			
基礎演習	「読むこと」「書くこと」「探すこと」「発表すること」等、大学での学びの基本的方法やツール等を習得し、基礎的学修能力を養成するために、「基礎演習」(1・2年次)を開講する。	[200] 東洋史学基礎演習Ⅰ(4)【深草】		[300] 東洋史学基礎演習Ⅱ(4)【深草】						2科目8単位必修
演習Ⅰ	学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表とディスカッション、レポート作成等を通じて、課題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次)および「演習Ⅱ」(4年次)を開講する。					[400] 東洋史学演習Ⅰ(4)【大宮】				1科目4単位必修
演習Ⅱ 卒業論文								[500] 卒業論文(4)【大宮】		2科目8単位必修
								[500] 東洋史学演習Ⅱ(4)【大宮】		

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【歴史学科仏教史学専攻カリキュラムマップ】



■歴史学科仏教史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼歴史学科仏教史学専攻の教育理念・目的

歴史的な視点に立って、仏教が、それぞれの時代・地域の中でどのように受け入れられ展開してきたのかを考察することにより、歴史的主体として現代社会に貢献できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといたる学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する

《履修上の注意点》

■「普通講義A」のうち「仏教史学入門A」「仏教史学入門B」（合計4単位）以外で、規定の単位を超えて修得した単位は、「選択専攻科目」となります。

■「普通講義B」で、2科目グループ・8単位を超えて修得した場合は「選択専攻科目」となります。

■「普通講義B」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。

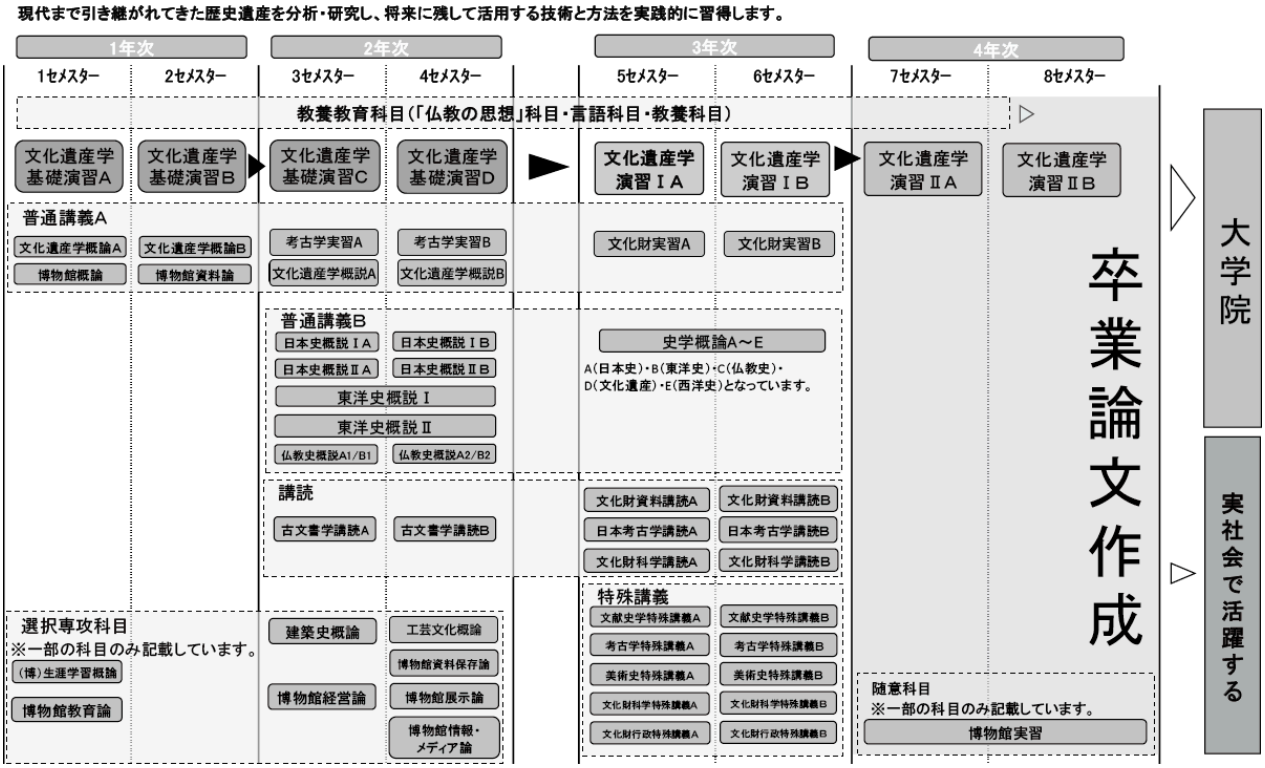
■卒業論文（4単位）は、仏教史学演習ⅡA・ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

区分	教育課程編成・実施の方針	1年次		2年次		3年次		4年次		履修規定
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
普通講義A	○各学科・専攻の学修を進める上での基礎的・全般的な知識や思考を修得するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。 ○各学科・専攻の専門領域の基礎的な知識・思考を踏まえて人間社会に対する問題意識を醸成するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。	[100] 仏教史学入門A(2)【深草】	[200] 仏教史学入門B(2)【深草】	[300] 仏教史概説A1(2)【大宮】	[300] 仏教史概説A2(2)【大宮】	[400] 史学概論A(2)【大宮】	[400] 史学概論B(2)【大宮】			「仏教史学入門A」「仏教史学入門B」4単位と「仏教史学入門」4単位を除く普通講義Aの中から4単位選択必修の合計8単位必修。
				[300] 仏教史概説B1(2)【大宮】	[300] 仏教史概説B2(2)【大宮】	[400] 史学概論C(2)【大宮】	[400] 史学概論D(2)【大宮】			
				[300] 仏教文化史概論A(2)【深草】	[300] 仏教文化史概論B(2)【深草】	[400] 史学概論E(2)【大宮】				
普通講義B				以下の①～⑦の科目グループから8単位を履修						①～⑦の科目グループから8単位選択必修
				① [300] インド仏教史A(2)【大宮】	[300] インド仏教史B(2)【大宮】					
				② [300] 西域仏教史A(2)【大宮】	[300] 西域仏教史B(2)【大宮】					
				③ [300] 中国仏教史A(2)【大宮】	[300] 中国仏教史B(2)【大宮】					
				④ [300] 日本仏教史A1 (2)【大宮】	[300] 日本仏教史A2(2)【大宮】					
				⑤ [300] 日本仏教史B1 (2)【大宮】	[300] 日本仏教史B2 (2)【大宮】					
				⑥ [300] 仏教美術史A(2)【大宮】	[300] 仏教美術史B(2)【大宮】					
				⑦ [300] 真宗史A(2)【大宮】	[300] 真宗史B(2)【大宮】					
特殊講義	1・2年次で学んだ各学科・専攻の専門分野の基本を踏まえて、さらに学修の専門化・深化をはかるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。					[400] 仏教史学特殊講義A1(2)【大宮】	[400] 仏教史学特殊講義A2(2)【大宮】			4単位選択必修
						[400] 仏教史学特殊講義B1(2)【大宮】	[400] 仏教史学特殊講義B2(2)【大宮】			
						[600] 仏教史学特殊講義C1(2)【大宮】	[600] 仏教史学特殊講義C2(2)【大宮】			
						[400] 仏教史学特殊講義D1(2)【大宮】	[400] 仏教史学特殊講義D2(2)【大宮】			
						[600] 仏教史学特殊講義E1(2)【大宮】	[600] 仏教史学特殊講義E1(2)【大宮】			
						[400] 仏教史学特殊講義F1(2)【大宮】	[400] 仏教史学特殊講義F2(2)【大宮】			
						[400] 仏教史学特殊講義G1(2)【大宮】	[400] 仏教史学特殊講義G2(2)【大宮】			
						[400] 仏教史学特殊講義H1(2)【大宮】	[400] 仏教史学特殊講義H2(2)【大宮】			
						[400] 仏教史学特殊講義I1(2)【大宮】	[400] 仏教史学特殊講義I2(2)【大宮】			
講読	各学科・専攻の専門分野の基礎的な文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。			[300] 仏教史学講読F1(2)【深草】 《2年次のみ》	[300] 仏教史学講読F2(2)【深草】 《2年次のみ》	[600] 仏教史学講読A1(2)【大宮】	[600] 仏教史学講読A2(2)【大宮】			年次指定(2年次のみ)4単位及び(3年次以上)履修可能な講読4単位の合計8単位必修。 年次指定が(2年次のみ)の「講読」を修得できなかった場合は、年次指定(3年次以上)の科目で修得しなければなりません。
						[600] 仏教史学講読B1(2)【大宮】	[600] 仏教史学講読B2(2)【大宮】			
				[300] 仏教史学講読G1(2)【深草】 《2年次のみ》	[300] 仏教史学講読G2(2)【深草】 《2年次のみ》	[400] 仏教史学講読C1(2)【大宮】	[400] 仏教史学講読C2(2)【大宮】			
						[400] 仏教史学講読D1(2)【大宮】	[400] 仏教史学講読D2(2)【大宮】			
				[300] 仏教史学講読H1(2)【大宮】 《2年次のみ》	[300] 仏教史学講読H2(2)【大宮】 《2年次のみ》	[400] 仏教史学講読E1(2)【大宮】	[400] 仏教史学講読E2(2)【大宮】			
基礎演習	「読むこと」「書くこと」「探すこと」「発表すること」等、大学での学びの基本的方法やツール等を習得し、基礎的学修能力を養成するために、「基礎演習」(1・2年次)を開講する。	[200] 仏教史学基礎演習ⅠA(2)【深草】 (後期開講クラスも有)	[200] 仏教史学基礎演習ⅠB(2)【深草】 (前期開講クラスも有)	[300] 仏教史学基礎演習ⅡA(2)【深草】 (後期開講クラスも有)	[300] 仏教史学基礎演習ⅡB(2)【深草】 (前期開講クラスも有)					4科目8単位必修
演習Ⅰ	学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表とディスカッション、レポート作成等を通じて、課題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次)および「演習Ⅱ」(4年次)を開講する。					[400] 仏教史学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 仏教史学演習ⅠB(2)【大宮】			2科目4単位必修
演習Ⅱ 卒業論文								[500] 卒業論文(4)【大宮】		3科目8単位必修
								[500] 仏教史学演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 仏教史学演習ⅡB(2)【大宮】	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【歴史学科文化遺産学専攻カリキュラムマップ】



■歴史学科文化遺産学専攻 専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼歴史学科文化遺産学専攻の教育理念・目的

文化遺産の歴史的意義を考え、将来へと守り伝えるための方法と技法を習得し、地域の文化的媒体として活用できる人材を育成する。あわせて、文化財の調査・研究、その保存と活用を行うための専門教育を通して、仏教美術・寺院建築・仏教儀礼等に向き合い、「建学の精神」を体現した自主的判断能力を持つ感受性の豊かな専門家を育成する。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといたる学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義B」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A」を修得した次年度に「講読A」を再度履修登録することができます。

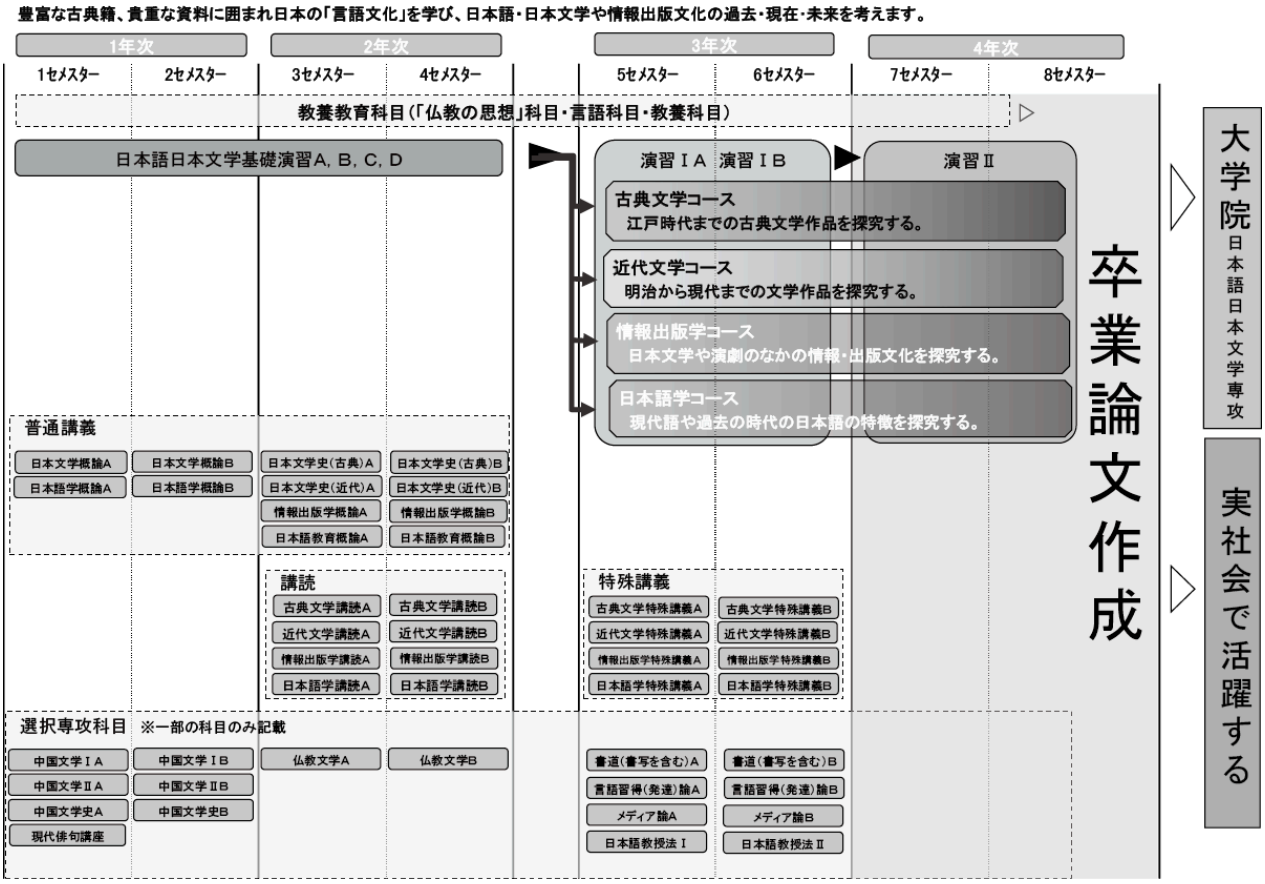
■卒業論文（4単位）は、文化遺産学演習ⅡA・ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

区分	教育課程編成・実施の方針	1年次		2年次		3年次		4年次		履修規定
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
普通講義A	○各学科・専攻の学修を進める上での基礎的・全般的な知識や思考を修得するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。 ○各学科・専攻の専門領域の基礎的な知識・思考を踏まえて人間社会に対する問題意識を醸成するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。	[100] 文化遺産学概論A(2)【深草】	[200] 文化遺産学概論B(2)【深草】	[300]考古学実習A(1)【大宮】	[300]考古学実習B(1)【大宮】	[400]文化財実習A(1)【大宮】	[400]文化財実習B(1)【大宮】			10科目16単位必修
		[100]博物館概論(2)【深草】	[200]博物館資料論(2)【深草】	[300]文化遺産学概説A(2)【深草】	[300]文化遺産学概説B(2)【深草】					
普通講義B				[300] 日本史概説ⅠA(2)【大宮】	[300] 日本史概説ⅠB(2)【大宮】	[400] 史学概論A(2)【大宮】	[400] 史学概論B(2)【大宮】			8単位選択必修
				[300] 日本史概説ⅡA(2)【大宮】	[300] 日本史概説ⅡB(2)【大宮】	[400] 史学概論C(2)【大宮】	[400] 史学概論D(2)【大宮】			
				[300] 東洋史概説Ⅰ(4)【大宮】		[400] 史学概論E(2)【大宮】				
				[300] 東洋史概説Ⅱ(4)【大宮】						
				[300] 仏教史概説A1(2)【大宮】	[300] 仏教史概説A2(2)【大宮】					
				[300] 仏教史概説B1(2)【大宮】	[300] 仏教史概説B2(2)【大宮】					
特殊講義	1・2年次で学んだ各学科・専攻の専門分野の基本を踏まえて、さらに学修の専門化・深化をはかるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。					[400] 文献史学特殊講義A(2)【大宮】	[600] 文献史学特殊講義B(2)【大宮】			2科目4単位選択必修
						[400] 考古学特殊講義A(2)【大宮】	[400] 考古学特殊講義B(2)【大宮】			
						[400] 美術史特殊講義A(2)【大宮】	[400] 美術史特殊講義B(2)【大宮】			
						[400] 文化財科学特殊講義A(2)【大宮】	[400] 文化財科学特殊講義B (2)【大宮】			
						[400] 文化財行政特殊講義A(2)【大宮】	[400] 文化財行政特殊講義B(2)【大宮】			
講読	各学科・専攻の専門分野の基礎的な文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。			[300] 古文書学講読A(2)【深草】	[300] 古文書学講読B(2)【深草】	[400] 文化財資料講読A(2)【大宮】	[400] 文化財資料講読B(2)【大宮】			2科目4単位選択必修
						[400] 日本考古学講読A(2)【大宮】	[400] 日本考古学講読B(2)【大宮】			
						[400] 文化財科学講読A(2)【大宮】	[400] 文化財科学講読B(2)【大宮】			
基礎演習	「読むこと」「書くこと」「探すこと」「発表すること」等、大学での学びの基本的方法やツール等を習得し、基礎的学修能力を養成するために、「基礎演習」(1・2年次)を開講する。	[200] 文化遺産学基礎演習A(2)【深草】	[200] 文化遺産学基礎演習B(2)【深草】	[300] 文化遺産学基礎演習C(2)【深草】	[300] 文化遺産学基礎演習D(2)【深草】					4科目8単位必修
演習Ⅰ	学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表とディスカッション、レポート作成等を通じて、課題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次)および「演習Ⅱ」(4年次)を開講する。					[400] 文化遺産学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 文化遺産学演習ⅠB(2)【大宮】			2科目4単位必修
演習Ⅱ								[500] 文化遺産学演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 文化遺産学演習ⅡB(2)【大宮】	2科目4単位必修
卒業論文								[500] 卒業論文(4)【大宮】		1科目4単位必修

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【日本語日本文化科カリキュラムマップ】



■日本語日本文学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼日本語日本文学科の教育理念・目的

日本語の正しい理解力、日本の言語文化に関する専門的読解力、論理的思考力、および表現力を修得し、「ことば」によって成り立つ社会の持続的発展に主体的に貢献できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べ

るようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといたる学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読（A)」を修得した次年度に「講読（A)」を再度履修登録することができます。

■日本語日本文学基礎演習A~Dはクラスにより履修登録を行う順番が異なります。時間割表で登録する科目を確認してください。

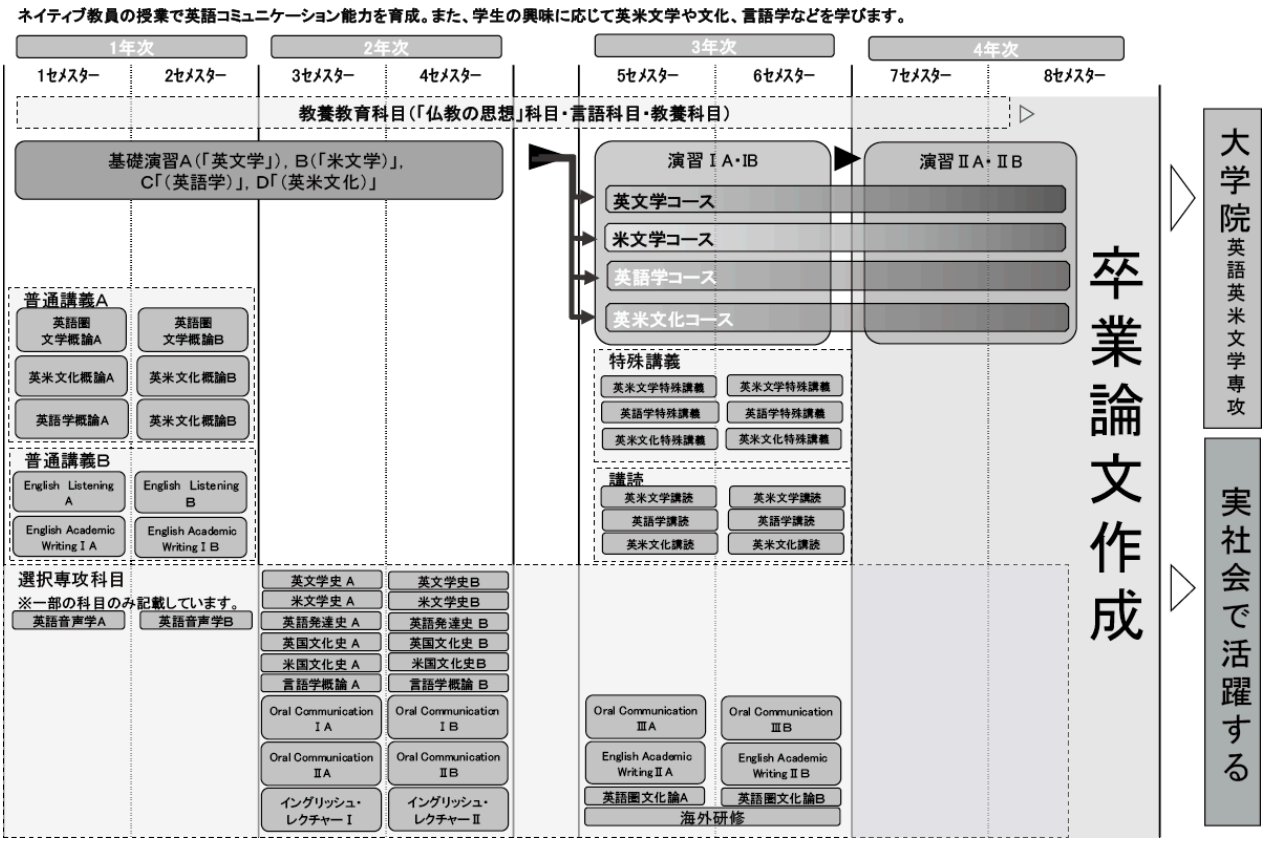
■卒業論文（4単位）は、演習Ⅱを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

区分	教育課程編成・実施の方針	1年次		2年次		3年次		4年次		履修規定
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
普通講義	○各学科・専攻の学修を進める上での基礎的・全般的な知識や思考を修得するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。 ○各学科・専攻の専門領域の基礎的な知識・思考を踏まえて人間社会に対する問題意識を醸成するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。	[100] 日本文学概論A(2)【深草】	[200] 日本文学概論B(2)【深草】	[300] 日本文学史(古典)A(2)【大宮】	[300] 日本文学史(古典)B(2)【大宮】					6科目12単位選択必修
		[100] 日本語学概論A(2)【深草】	[200] 日本語学概論B(2)【深草】	[300] 日本文学史(近代)A(2)【大宮】	[300] 日本文学史(近代)B(2)【大宮】					
				[300] 情報出版学概論A(2)【大宮】	[300] 情報出版学概論B(2)【大宮】					
				[300] 日本語教育概論A(2)【大宮】	[300] 日本語教育概論B(2)【大宮】					
特殊講義	1・2年次で学んだ各学科・専攻の専門分野の基本を踏まえて、さらに学修の専門化・深化をはかるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。			[300] 情報出版学特殊講義(A)A(3)【大宮】	[300] 情報出版学特殊講義(A)B(3)【大宮】	[400] 古典文学特殊講義(A)A(2)【大宮】	[400] 古典文学特殊講義(A)B(2)【大宮】			2科目4単位選択必修
						[400] 古典文学特殊講義(B)A(2)【大宮】	[400] 古典文学特殊講義(B)B(2)【大宮】			
						[400] 古典文学特殊講義(C)A(2)【大宮】	[400] 古典文学特殊講義(C)B(2)【大宮】			
						[400] 古典文学特殊講義(D)A(2)【大宮】	[400] 古典文学特殊講義(D)B(2)【大宮】			
						[400] 古典文学特殊講義(E)A(2)【大宮】	[400] 古典文学特殊講義(E)B(2)【大宮】			
						[400] 古典文学特殊講義(F)A(2)【大宮】	[400] 古典文学特殊講義(F)B(2)【大宮】			
						[400] 近代文学特殊講義(A)A(2)【大宮】	[400] 近代文学特殊講義(A)B(2)【大宮】			
						[400] 近代文学特殊講義(B)A(2)【大宮】	[400] 近代文学特殊講義(B)B(2)【大宮】			
						[400] 近代文学特殊講義(C)A(2)【大宮】	[400] 近代文学特殊講義(C)B(2)【大宮】			
						[400] 情報出版学特殊講義(3)A(2)【大宮】	[400] 情報出版学特殊講義(3)B(2)【大宮】			
						[900] 情報出版学特殊講義(C)A(3)【大宮】	[900] 情報出版学特殊講義(C)B(3)【大宮】			
						[400] 情報出版学特殊講義(D)A(2)【大宮】	[400] 情報出版学特殊講義(D)B(2)【大宮】			
						[400] 日本語学特殊講義(A)A(2)【大宮】	[400] 日本語学特殊講義(A)B(2)【大宮】			
						[400] 日本語学特殊講義(B)A(2)【大宮】	[400] 日本語学特殊講義(B)B(2)【大宮】			
						[900] 日本語学特殊講義(C)A(2)【大宮】	[900] 日本語学特殊講義(C)B(2)【大宮】			
						[400] 日本語学特殊講義(D)A(2)【大宮】	[400] 日本語学特殊講義(D)B(2)【大宮】			
講読	各学科・専攻の専門分野の基礎的な文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。			[300] 古典文学講読(A)A(2)【深草】	[300] 古典文学講読(A)B(2)【深草】					4科目8単位選択必修
				[300] 古典文学講読(B)A(2)【大宮】	[300] 古典文学講読(B)B(2)【大宮】					
				[300] 古典文学講読(C)A(2)【大宮】	[300] 古典文学講読(C)B(2)【大宮】					
				[300] 古典文学講読(D)A(2)【大宮】	[300] 古典文学講読(D)B(2)【大宮】					
				[300] 近代文学講読(A)A(2)【大宮】	[300] 近代文学講読(A)B(2)【大宮】					
				[300] 近代文学講読(B)A(2)【大宮】	[300] 近代文学講読(B)B(2)【大宮】					
				[300] 近代文学講読(C)A(2)【深草】	[300] 近代文学講読(C)B(2)【深草】					
				[300] 情報出版学講読(A)A(2)【大宮】	[300] 情報出版学講読(A)B(2)【大宮】					
				[300] 情報出版学講読(B)A(2)【深草】	[300] 情報出版学講読(B)B(2)【深草】					
				[300] 情報出版学講読(C)A(2)【大宮】	[300] 情報出版学講読(C)B(2)【大宮】					
				[300] 日本語学講読(A)A(2)【深草】	[300] 日本語学講読(A)B(2)【深草】					
				[300] 日本語学講読(B)A(2)【大宮】	[300] 日本語学講読(B)B(2)【大宮】					
基礎演習	「読むこと」「書くこと」「授すこと」「発表すること」等、大学での学びの基本的方法やツール等を習得し、基礎的学修能力を養成するために、「基礎演習」(1・2年次)を開講する。	A~Dはクラスにより履修する順序が異なります。時間割表で登録する科目を確認してください。								4科目8単位必修
		[200] 日本語日本文学基礎演習A(2)【深草】	[200] 日本語日本文学基礎演習B(2)【深草】	[900] 日本語日本文学基礎演習C(0)【深草】	[300] 日本語日本文学基礎演習D(2)【深草】					
演習Ⅰ	学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表とディスカッション、レポート作成等を通じて、課題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次)および「演習Ⅱ」(4年次)を開講する。					[400] 古典文学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 古典文学演習ⅠB(2)【大宮】			2科目4単位選択必修。 同一分野(古典文学、近代文学、情報出版学、日本語学)でⅠA・ⅠBを履修すること。
						[400] 近代文学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 近代文学演習ⅠB(2)【大宮】			
						[400] 情報出版学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 情報出版学演習ⅠB(2)【大宮】			
						[400] 日本語学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 日本語学演習ⅠB(2)【大宮】			
演習Ⅱ 卒業論文								[500] 卒業論文(4)【大宮】		卒業論文4単位及び、同一分野の演習Ⅱ(古典文学、近代文学、情報出版学、日本語学)の4単位、合計8単位必修。
								[500] 古典文学演習Ⅱ(4)【大宮】		
								[500] 近代文学演習Ⅱ(4)【大宮】		
								[500] 情報出版学演習Ⅱ(4)【大宮】		
								[500] 日本語学演習Ⅱ(4)【大宮】		

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【英語英米文学カリキュラムマップ】



■英語英米文学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼英語英米文学科の教育理念・目的

英国・米国をはじめとする英語圏に関する言語・文学・文化についての知識を修得し、広い視野に立って英語圏地域を深く洞察する能力を身に付け、国際化する現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといたる学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義A」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読（A)」を修得した次年度に「講読（A)」を再度履修登録することができます。

■卒業論文（4単位）は、演習Ⅱを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

区分	教育課程編成・実施の方針	1年次 第1セメスター	1年次 第2セメスター	2年次 第3セメスター	2年次 第4セメスター	3年次 第5セメスター	3年次 第6セメスター	4年次 第7セメスター	4年次 第8セメスター	履修規定
普通講義A	○各学科・専攻の学修を進める上での基礎的・全般的な知識や思考を養得するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。 ○各学科・専攻の専門領域の基礎的な知識・思考を踏まえて人間社会に対する問題意識を醸成するために、概説・概論等を行う「普通講義」科目を開講する。	[100] 英語圏文学概論A(2)【両学舎】	[200] 英語圏文学概論B(2)【両学舎】							4科目8単位選択必修
		[100] 英米文化概論A(2)【両学舎】	[200] 英米文化概論B(2)【両学舎】							
		[100] 英語学概論A(2)【両学舎】	[200] 英語学概論B(2)【両学舎】							
普通講義B		[100] English Listening A(1)【深草】	[200] English Listening B(1)【深草】							4科目4単位必修
		[100] English Academic Writing Ⅰ A(1)【深草】	[200] English Academic Writing Ⅰ B(1)【深草】							
特殊講義	1・2年次で学んだ各学科・専攻の専門分野の基本を踏まえて、さらに学修の専門化・深化をはかるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。					[400] 英米文学特殊講義(A)A (2)【大宮】	[400] 英米文学特殊講義(A)B (2)【大宮】			2科目4単位選択必修
						[400] 英米文学特殊講義(B)A (2)【大宮】	[400] 英米文学特殊講義(B)B (2)【大宮】			
						[400] 英米文学特殊講義(C)A (2)【大宮】	[400] 英米文学特殊講義(C)B (2)【大宮】			
						[400] 英米文学特殊講義(D)A (2)【大宮】	[400] 英米文学特殊講義(D)B (2)【大宮】			
						[400] 英米文学特殊講義(E)A (2)【大宮】	[400] 英米文学特殊講義(E)B (2)【大宮】			
						[400] 英語学特殊講義(A)A (2)【大宮】	[400] 英語学特殊講義(A)B (2)【大宮】			
						[400] 英米文化特殊講義(A)A (2)【大宮】	[400] 英米文化特殊講義(A)B (2)【大宮】			
						[400] 英米文化特殊講義(B)A (2)【大宮】	[400] 英米文化特殊講義(B)B (2)【大宮】			
講読	各学科・専攻の専門分野の基礎的な文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。					[400] 英米文学講読(A)A (2)【大宮】	[400] 英米文学講読(A)B (2)【大宮】			4科目8単位選択必修
						[400] 英米文学講読(B)A (2)【大宮】	[400] 英米文学講読(B)B (2)【大宮】			
						[400] 英米文学講読(C)A (2)【大宮】	[400] 英米文学講読(C)B (2)【大宮】			
						[400] 英米文学講読(D)A (2)【大宮】	[400] 英米文学講読(D)B (2)【大宮】			
						[400] 英米文学講読(E)A (2)【大宮】	[400] 英米文学講読(E)B (2)【大宮】			
						[400] 英語学講読(A)A (2)【大宮】	[400] 英語学講読(A)B (2)【大宮】			
						[400] 英語学講読(B)A (2)【大宮】	[400] 英語学講読(B)B (2)【大宮】			
						[400] 英米文化講読(A)A (2)【大宮】	[400] 英米文化講読(A)B (2)【大宮】			
						[400] 英米文化講読(B)A (2)【大宮】	[400] 英米文化講読(B)B (2)【大宮】			
基礎演習	「読むこと」「書くこと」「探すこと」「発表すること」等、大学での学びの基本的方法やツール等を習得し、基礎的学修能力を養成するために、「基礎演習」(1・2年次)を開講する。	A～Dはクラスにより履修登録を行う順番が異なります。時間割表で登録する科目を確認してください。								4科目8単位必修
		[200] 英語英米文学基礎演習A (「英文学」)(2)【深草】	[200] 英語英米文学基礎演習B (「米文学」)(2)【深草】	[200] 英語英米文学基礎演習C (「英語学」)(2)【深草】	[200] 英語英米文学基礎演習D (「英文化」)(2)【深草】					
演習Ⅰ	学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表とディスカッション、レポート作成等を通じて、課題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次)および「演習Ⅱ」(4年次)を開講する。					[400] 英文学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 英文学演習ⅠB(2)【大宮】			2科目4単位選択必修。 同一分野(英文学、米文学、英語学、英米文化)でⅠA・ⅠBを履修すること。
						[400] 米文学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 米文学演習ⅠB(2)【大宮】			
						[400] 英語学演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 英語学演習ⅠB(2)【大宮】			
						[400] 英米文化演習ⅠA(2)【大宮】	[400] 英米文化演習ⅠB(2)【大宮】			
演習Ⅱ 卒業論文								[500] 卒業論文(4)【大宮】		卒業論文4単位及び、同一分野の演習ⅡA・ⅡB(英文学・米文学・英語学・英米文化)の4単位、合計8単位必修。
								[500] 英文学演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 英文学演習ⅡB(2)【大宮】	
								[500] 米文学演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 米文学演習ⅡB(2)【大宮】	
								[500] 英語学演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 英語学演習ⅡB(2)【大宮】	
								[500] 英米文化演習ⅡA(2)【大宮】	[500] 英米文化演習ⅡB(2)【大宮】	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【2】選択専攻科目 開設科目一覧

■履修方法

○以下の表から自由に選択し、24単位以上（哲学科哲学専攻・歴史学科仏教史学専攻は20単位以上、歴史学科文化遺産学専攻は16単位以上）を修得しなければなりません。規定の単位を超えて修得した単位は、「フリーゾーン」の単位として卒業要件単位に含めることができます。

○各学科・専攻ごとに定められた必修専攻科目の規定の単位を満たし、それを超えて修得した必修専攻科目については、選択専攻科目として扱われます（下表の備考欄に詳細は記載しています）。

○「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読（A)」を修得した次年度に「講読（A)」を再度履修登録することができます。

▼選択専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針《抜粋》

○学生の多様な興味・関心を喚起し、学修意欲を促進するために、どの科目を履修するかはすべて学生の選択に任せられている「選択科目」を開講する。

※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

	1年次 第1セメスター	1年次 第2セメスター	2年次 第3セメスター	2年次 第4セメスター	3年次 第5セメスター	3年次 第6セメスター	備考
真宗学科関係科目	真宗学科必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読の科目						真宗学科以外の学生
	[200] 真宗学概論B1(2)【深草】	[200] 真宗学概論B2(2)【深草】	[300]こども環境と真宗保育入門Ⅰ(2)【深草】	[300]こども環境と真宗保育入門Ⅱ(2)【深草】	[400] 布教伝道論Ⅰ(2)【大宮】	[400] 布教伝道論Ⅱ(2)【大宮】	
	[200] 真宗教団史(4)【深草】		[300]仏教こども教育福祉入門(2)【深草】	[300]仏教音楽入門(2)【深草】	[400] 文書伝道論Ⅰ(2)【大宮】	[400] 文書伝道論Ⅱ(2)【大宮】	
仏教学科関係科目	仏教学科必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読(仏教漢文入門A・Bを除くの科目						仏教学科以外の学生 ■語学科目の先修制について サンスクリット語仏典入門A2・B2、チベット語仏典入門A2・B2、パーリ語仏典入門Bの受講にあたっては、それぞれA1・B1、Aの科目の単位を修得していなければ履修することができません。
	[100] 仏教美術入門A(2)【深草】	[100] 仏教美術入門B(2)【深草】	[300] サンスクリット語仏典入門B1(2)【大宮】	[300] サンスクリット語仏典入門B2(2)【大宮】※	[400] 仏教と異思想A(2)【大宮】	[400] 仏教と異思想B(2)【大宮】	
	[200] 仏教文化入門(2)【深草】	[200]現代仏典入門(2)【深草】	[300] チベット語仏典入門B1(2)【大宮】	[300] チベット語仏典入門B2(2)【大宮】※	[400] インドの仏教と文化A(2)【大宮】	[400] インドの仏教と文化B(2)【大宮】	
	[100] サンスクリット語仏典入門A1(2)【深草】	[200] サンスクリット語仏典入門A2(2)【深草】※	[300] パーリ語仏典入門A(2)【大宮】	[300] パーリ語仏典入門B(2)【大宮】※	[400] 仏典情報研究論A(2)【大宮】	[400] 仏典情報研究論B(2)【大宮】	
	[100] チベット語仏典入門A1(2)【深草】	[200] チベット語仏典入門A2(2)【深草】※	[300] 仏教漢文の世界A(2)【深草】	[300] 仏教漢文の世界B(2)【深草】	[400] 現代アジアの仏教と社会A(2)【大宮】	[400] 現代アジアの仏教と社会B(2)【大宮】	
			[300] 古都の仏教(2)【深草】	[300] 仏教と人生の課題(2)【深草】	[400] 仏教と日本の文化A(4)【大宮】		
			[300] 世界の仏教(2)【深草】		[400] 仏教と日本の文化C(2)【大宮】	[400] 仏教と日本の文化B(2)【大宮】	
			[300] 仏教学概論B1(2)【深草】	[300] 仏教学概論B2(2)【深草】		[400] 仏教と日本の文化D(2)【大宮】	
			[300] 宗教史A(2)【大宮】	[300] 宗教史B(2)【大宮】			
哲学科哲学専攻関係科目	哲学科哲学専攻必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読(3年次以上受講可能な科目のみ)の科目						哲学科哲学専攻以外の学生
	[200] 宗教と倫理(2)【キャンパスプラザ京都】	[200] 宗教と平和(2)【キャンパスプラザ京都】	[300] 宗教学概説A(2)【大宮】	[300] 宗教学概説B(2)【大宮】	[400] 美学概説(2)【大宮】	[400] キリスト教神学(2)【大宮】	
			[300] 現代倫理学特論(2)【大宮】	[300] 社会哲学 (2)【深草】		[400] 聖書研究(2)【大宮】	
			[300] 論理学特論(2)【大宮】	[300] 形而上学特論(2)【大宮】			
			[300] 現代哲学特論(2)【大宮】	[300] 科学哲学(2)【深草】			
哲学科教育学専攻関係科目	哲学科教育学専攻必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読の科目						哲学科教育学専攻以外の学生 ■「学習心理学」「認知心理学」の受講にあたっては、「人間科学概論」の単位を修得していなければ履修することができません。
	[200] 現代社会論(4)【深草】		[300] 矯正教育論Ⅰ(2)【深草】	[300] 矯正教育論Ⅱ(2)【深草】	[600] 教育行政学A(2)【大宮】	[600] 教育行政学B(2)【大宮】	
		[200] 心理学史(2)【深草】		[200] 発達心理学(2)【深草】	[400] 社会教育計画(4)【大宮】		
				[300]教育哲学(2)【大宮】	[400] 社会教育特講Ⅰ(4)【大宮】		
			[300]「環境教育学」(2)【大宮】		[400] 社会教育特講Ⅱ(4)【大宮】		
			[300]「共生教育学」(2)【大宮】		[400] 社会教育特講Ⅲ(4)【大宮】		
			[300]「教育メディア論」(2)【大宮】		[400] 学習心理学(2)【大宮】※	[400] 教育心理学研究法(2)【大宮】	
			(半期開講)			[300]認知心理学(2)【大宮】※	
			※開講期は時間割を確認してください			[300]特別支援教育論(2)【大宮】	
					[200]「社会調査統計法」【大宮】(半期開講)		
					※開講期は時間割を確認してください		
歴史学科関係科目	歴史学科日本史学専攻必修専攻科目：普通講義、特殊講義、講読の科目						歴史学科日本史学専攻以外の学生
	歴史学科東洋史学専攻必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読(3年次以上受講可能な科目のみ)の科目						歴史学科東洋史学専攻以外の学生
	歴史学科仏教史学専攻必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読(3年次以上受講可能な科目のみ)の科目						歴史学科仏教史学専攻以外の学生
	歴史学科文化遺産学専攻必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読(受講指定された科目を除くの科目						歴史学科文化遺産学専攻以外の学生
	[200] 考古学(日本)A(2)【深草】	[200] 考古学(日本)B(2)【深草】	[300] 美術史(日本)A(2)【大宮】	[300] 美術史(日本)B(2)【大宮】	[400] 民俗学(日本)A(2)【大宮】	[400] 民俗学(日本)B(2)【大宮】	■「古文書学入門A・B」は、歴史学科日本史学専攻の学生のみ受講可。
	[200] 考古学(アジア)A(2)【深草】	[200] 考古学(アジア)B(2)【深草】	[300] 美術史(アジア)A(2)【大宮】	[300] 美術史(アジア)B(2)【大宮】	[400] 民俗学(アジア)A(2)【大宮】	[400] 民俗学(アジア)B(2)【大宮】	
	[200] 古文書学入門A(2)【深草】※	[200] 古文書学入門B(2)【深草】※	[300] 日本文化史Ⅰ(2)【深草】	[300] 日本文化史Ⅱ(2)【深草】	[400] 史料学(日本)A(2)【大宮】	[400] 史料学(日本)B(2)【大宮】	
			[300] 中国文化史Ⅰ(2)【深草】	[300] 中国文化史Ⅱ(2)【深草】	[400] 史料学(アジア)A(2)【大宮】	[400] 史料学(アジア)B(2)【大宮】	
			[300] 文化人類学概論(4)【大宮】		[400] 古文書学A(2)【大宮】	[400] 古文書学B(2)【大宮】	
			[300] 日本宗教史A (2)【大宮】	[300] 日本宗教史B (2)【大宮】	[400] 社会事業史(4)【大宮】		
			[300] 建築史概論 (2)【大宮】	[300] 工芸文化概論 (2)【大宮】			

日本語日本文学科関係科目	日本語日本文学科専攻必修専攻科目：普通講義、 特殊講義、講読の科目						日本語日本文学科以外の学生
	[100] 中国文学ⅠA(2)【深草】※	[200] 中国文学ⅠB(2)【深草】※	[300] 仏教文学A(2)【大宮】	[300] 仏教文学B(2)【大宮】	[400] 書道(書写を含む)A(2)【大宮】	[400] 書道(書写を含む)B(2)【大宮】	■「中国文学ⅠA・ⅠB」と「中国文学ⅡA・ⅡB」は隔年開講 ■「日本語教育実習A・B」の先修制について 日本語教育実習A・Bの受講にあたっては、日本語教育概論A・Bのうちいずれか2単位を修得していなければ履修することができません。
	[100] 中国文学ⅡA(2)【大宮】※	[200] 中国文学ⅡB(2)【大宮】※	[300] 情報処理法Ⅰ(2)【両学舎】	[300] 情報処理法Ⅱ(2)【両学舎】	[400] 言語習得(発達)論A(2)【大宮】	[400] 言語習得(発達)論B(2)【大宮】	
	[100] 中国文学史A(2)【大宮】	[200] 中国文学史B(2)【大宮】	[300] 画像映像処理法Ⅰ(2)【大宮】	[300] 画像映像処理法Ⅱ(2)【大宮】	[400] メディア論A(2)【大宮】	[400] メディア論B(2)【大宮】	
	[100]現代俳句講座(2)【深草】				[400] 日本語教授法Ⅰ(2)【大宮】	[400] 日本語教授法Ⅱ(2)【大宮】	
					[300] 日本語教育実習A(1)【大宮】	[300]日本語教育実習B(1)【大宮】	
英語英米文学科関係科目	英語英米文学科専攻必修専攻科目：普通講義A、 特殊講義、講読の科目						英語英米文学科以外の学生
	[200] 英語音声学A(2)【深草】	[200] 英語音声学B(2)【深草】	[300] 英文学史A(2)【大宮】	[300] 英文学史B(2)【大宮】	[400] Oral Communication ⅢA(2)【大宮】	[400] Oral Communication ⅢB(2)【大宮】	
			[300] 米文学史A(2)【大宮】	[300] 米文学史B(2)【大宮】	[400] English Academic WritingⅡA(2)【大宮】	[400] English Academic WritingⅡB(2)【大宮】	
			[300] 英語発達史A(2)【大宮】	[300] 英語発達史B(2)【大宮】	[400] 英語圏文化論A(2)【大宮】	[400] 英語圏文化論B(2)【大宮】	
			[300] 英国文化史A(2)【大宮】	[300] 英国文化史B(2)【大宮】			
			[300] 米国文化史A(2)【大宮】	[300] 米国文化史B(2)【大宮】			
			[300] 言語学概論A(2)【大宮】	[300] 言語学概論B(2)【大宮】			
			[300] Oral Communication ⅠA(2)【両学舎】	[300] Oral Communication ⅠB(2)【両学舎】			
			[300] Oral Communication ⅡA(2)【大宮】	[300] Oral Communication ⅡB(2)【大宮】			
			[300] ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ･ﾚｸﾁｬｰ(英米のﾎﾞｷｭﾗｰ･ｶﾙﾁｬｰ)Ⅰ(2)【深草】	[300] ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ･ﾚｸﾁｬｰ(英米のﾎﾞｷｭﾗｰ･ｶﾙﾁｬｰ)Ⅱ(2)【深草】			
			[300] ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ･ﾚｸﾁｬｰ(英米の風土と習慣)Ⅰ(2)【深草】	[300] ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ･ﾚｸﾁｬｰ(英米の風土と習慣)Ⅱ(2)【深草】			
教職課程関係科目	[100]教育情報処理演習(2)【両学舎】 前期・後期の両方に開講されます。	[100]教育情報処理演習(2)【両学舎】	[300] 日本史A(2)【大宮】	[300] 日本史B(2)【大宮】	[400] 経済原論(4)【大宮】		
			[300] 東洋史A(2)【大宮】	[300] 東洋史B(2)【大宮】	[400] 法学概論(4)【大宮】		
			[300] 西洋史(4)【大宮】		[400] 政治学原理(4)【大宮】		
			[300] 人文地理学(4)【大宮】		[400] 地理学(地誌)(4)【大宮】		
			[300] 歴史地理学(4)【大宮】		[400] 自然地理学(4)【両学舎】		
			[300] 社会学概説(4)【大宮】				
			[300] 社会事業概説(4)【大宮】				
博物館学芸員課程関係科目	[100](博)生涯学習概論(2)【深草】	[200]博物館資料論(2)【深草】	[300] 博物館経営論(2)【大宮】	[300]博物館資料保存論(2)【大宮】			■「博物館情報・メディア論」は、深草学舎と瀬田学舎の両方で開講されます。
	[100]博物館概論(2)【深草】			[300] 博物館展示論(2)【大宮】			
	[100] 博物館教育論(2)【深草】			[300] 博物館情報・メディア論(2)【深草・瀬田】※			
矯正・保護課程関係科目 （特別研修講座「矯正・保護課程」提供科目）		[200]矯正・保護入門 (2)【深草】	[300]矯正概論 (4)【深草】		[400]被害者学(4)【両学舎】		■この一覧に記載される科目を履修登録(本登録)し、履修すれば、卒業要件単位として認定されます。
			[300]更生保護概論 (4)【深草】		[400]矯正社会学(4)【深草】		
			[300]矯正教育学 (4)【深草】		[400]犯罪心理学(4)【両学舎】		
			[400]成人矯正処遇(2)【深草】	[400]保護観察処遇(2)【深草】		[400]青少年問題 (2)【深草】	
				[400]犯罪学(2)【深草】		[400]矯正医学 (2)【深草】	
留学関係科目(RIP(Ryukoku Intercultural Program)関係科目は除く(RIP(Ryukoku Intercultural Program)関係科目は111ページ参照))	国際文化交流研修(2)～(8) 【詳細は111･112ページ参照】				[400] 海外研修(4)【詳細は114ページ参照】		
文学部共通科目	[100]探究型科目PBL入門【深草】				[400]探究型科目PBL演習【大宮】		
キャリア開発科目	キャリア形成論(2)【深草】 《1･2年次のみ》	キャリア形成論(2)【深草】 《1･2年次のみ》			[400]キャリア開発論(2)【大宮】 《3年次のみ》		
	前期・後期の両方に開講されます。						

※他学部開講科目についても受講できる場合があります。その場合、掲示板・ポータルサイトでお知らせします。

【3】随意科目 開設科目一覧

※ [グレイドナンバー] 科目名 （単位数） 【開講キャンパス】を表しています。

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
随意	■教職課程科目（※履修方法等については、2024年度入学生用教職課程ガイドブックを参照のこと）							
			生徒・進路指導論(2)【深草】		道徳教育指導法(2)【大宮】	教育の方法と技術(2)【大宮】	教育実習指導ⅡA(中免用実習)(4)【大宮】	
			学校教育社会学(2)【深草】	学校教育社会学(2)【深草】	総合的な学習の時間・特別活動論(2)【大宮】		教育実習指導ⅡB(高免用実習)(2)【大宮】	
			前期・後期の両方に開講されます。		教育実習指導Ⅰ(1)【大宮】			教職実践演習(中・高)(2)【大宮】
			教職論(2)【深草】	教育課程論(2)【深草】	教育相談(2)【大宮】			
			介護等体験(2)【深草】		宗教科教育法Ⅰ(2)【大宮】	宗教科教育法Ⅱ(2)【大宮】		
			宗教科教育法A(2)【深草】	宗教科教育法B(2)【深草】	国語科教育法Ⅰ(2)【大宮】	国語科教育法Ⅱ(2)【大宮】		
			国語科教育法A(2)【深草】	国語科教育法B(2)【深草】	英語科教育法Ⅰ(2)【大宮】	英語科教育法Ⅱ(2)【大宮】		
			英語科教育法A(2)【深草】	英語科教育法B(2)【深草】	社会科・地歴科教育法Ⅰ(2)【大宮】	社会科・地歴科教育法Ⅱ(2)【大宮】		
			英語科教育法A(2)【深草】	体育実技(1)【深草】 (臨床心理学科/歴史学科 文化遺産学専攻のみ受講可)	社会科・公民科教育法Ⅰ(2)【大宮】	社会科・公民科教育法Ⅱ(2)【大宮】		
			教職コンピュータ基礎(2)【深草】	教職コンピュータ基礎(2)【深草】				
			前期・後期の両方に開講されます。					
	■博物館学芸員課程科目							
							博物館実習(3)【大宮】	
	■図書館司書課程科目(2012年度以降入学生対象科目)							
	(司)生涯学習概論(2)【深草】	(司)図書館サービス概論(2)【深草】	(司)図書館情報技術論(2)【深草】	(司)情報サービス実習B(1)【深草】	(司)図書館実習(1)【深草】			
	(司)図書館情報学概論(2)【深草】	(司)図書館情報資源概論(2)【深草】	(司)情報サービス論(2)【深草】	(司)図書館制度・経営論(2)【深草】	(司)図書館総合演習(2)【深草】			
		(司)図書・図書館史(2)【深草】	(司)児童サービス論(2)【深草】	(司)情報資源組織実習A(1)【深草】				
		(司)図書館基礎特論(2)【深草】	(司)情報サービス実習A(1)【深草】	(司)情報資源組織実習B(1)【深草】				
			(司)情報資源組織論(2)【深草】					
			(司)図書館情報資源特論(2)【深草】					
			(司)図書館サービス特論(2)【深草】					
			(司)図書館施設論(2)【深草】					
	■学校図書館司書教諭課程科目							
			(学)学校経営と学校図書館(2)【深草】	(学)学習指導と学校図書館(2)【深草】				
			(学)学校図書館とメディアの構成(2)【深草】	(学)読書と豊かな人間性(2)【深草】				
				(学)情報メディアの活用(2)【深草】				
	■本願寺派教師資格課程科目							
	勤式(4)【深草】				教化法(4)【大宮】※深草・大宮ともに開講されるが1科目の修得でよい			
		宗門法規(2)【深草】						
	教化法(4)【深草】※深草・大宮ともに開講されるが1科目の修得でよい							
	(本山教師)仏教史(1)【深草】							
	(本山教師)宗教概説(1)【深草】							

ルーブリック・研究科について

ルーブリック

（1）「ルーブリック」とは

ルーブリックとは評価水準である「尺度」と、尺度を満たした場合の「特徴の記述」により構成されたものです。ルーブリックを活用することにより、学修の目標が明確にされます。また、先生と学生の皆さんの双方が現時点の達成水準を客観的に把握することができます（中央教育審議会答申『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて~生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ~』2012年8月28日参照）。
卒業論文ルーブリックは文学部の4年間の学修の集大成である卒業論文の自分の達成水準を知るために使うものです。また、アカデミック・リテラシー・ルーブリックは文学部の皆さんが卒業の時までに備えてほしい基礎的な能力です。いずれも右の列に行くほど達成水準が高くなっていきます。これらのルーブリックを活用することで、学生の皆さんが卒業時までに習得していかなければならない能力を事前に知るとともに、今自分がどの位置にいるのかを知ることができます。
なお、ここで示したルーブリックはあくまでも一例です。これによる評価が皆さんの単位認定に関わる評価にそのまま結びつくとは限りません。特に、卒業論文ルーブリックについては各学科専攻の形式に合わせた形のものをスタディガイドに掲載しています。詳しいことは学科・専攻の教員の指示に従ってください。

（2）文学部アカデミック・リテラシー・ルーブリック

*1 このアカデミックスキル・ルーブリックは学生の皆さんが、龍谷大学の文学部生として求められるスキルを、どの程度達成できているかを確認するためのものです。
*2 おりにふれて、このルーブリックで自分の学修状況を振り返り、自身の学修に足りないものを確認し、各自の学修を深めるツールとして利用してください。

		相当の努力を要する	やや努力を要する	十分満足できる	期待している以上である
①：建学の精神の具現化	建学の精神の意義について理解している。	大学の主催する宗教行事などに全く参加しておらず、建学の精神も理解できていない。	大学の主催する宗教行事などにあまり参加しておらず、建学の精神があまり理解できていない。	大学の主催する宗教行事などにある程度参加し、建学の精神を理解しようと努めている。	大学の主催する宗教行事などに積極的に参加し、建学の精神を体現・実行できている。
②：（③の基礎となる）「知識・技能」の修得	人間社会において「言語（ことば）」の持つ影響力について深く理解し、人文学の幅広い知識を身につけている。	「言語（ことば）」の持つ力をまったく理解できていないため、テキストの読解ができず、人文学の幅広い知識の修得もできていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、「言語（ことば）」の持つ力が必ずしも理解できていないため、テキストを正確に読解できず、人文学の幅広い知識の修得も不十分である。	学科・専攻の教育理念に基づき、「言語（ことば）」の持つ力が一定程度理解できているため、一定程度テキストの読解ができ、幅広い人文学を学んでいる。	学科・専攻の教育理念に基づき、「言語（ことば）」の持つ力が深く理解できているため、テキストの正確な読解ができ、人文学の幅広い知識が身についている。
	日本語を正確に理解し、論理的な文章を書くと同時に、自らの見解を分かりやすく伝達するための方法を身につけている。	正確な日本語能力がなく、自らの意見を伝えることができない。	学科・専攻の教育理念に基づき、日本語能力を持ち、自らの意見をなんとか伝えることができる。	学科・専攻の教育理念に基づき、正確な日本語能力を持ち、自らの意見を伝えることができる。	学科・専攻の教育理念に基づき、正確な日本語能力を持ち、自らの意見をわかりやすく伝えることができる
	外国語運用能力や豊かな教養を身につけている。	外国語運用能力をはじめとした教養の学修にまったく取り組めていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、外国語をはじめとした教養の学修に必ずしも積極的に取り組んでいない。	学科・専攻の教育理念に基づき、外国語をはじめとした教養の学修にある程度積極的に取り組んでいる。	学科・専攻の教育理念に基づき、外国語をはじめとした教養の学修に積極的に取り組めている。
③：（④の基盤となる）「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力（「思考力・判断力・表現力」）」の発展・向上	他者との相互理解を可能とするような対話能力を身につけている。	他者との相互理解を円滑に行う対話能力が身についていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との相互理解を行う対話能力が必ずしも身についていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との相互理解を行う対話能力が一定程度身についている。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との相互理解を円滑に行う対話能力が身についている。
	自らが設定した課題について、探求、発見、追究、解決という一連のプロセスを達成する能力を多角的に身につけている。	課題の探求から解決にむけた能力がまったく身についていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、課題の探求から解決にむけた能力が必ずしも身についていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、課題の探求から解決にむけた能力がある程度身についている。	学科・専攻の教育理念に基づき、課題の探求から解決にむけた能力が十分身についている。
	論理的思考力を培い、現代社会が問いかける問題に対して、多角的に思考・判断することができる。	現代社会が問いかける問題に論理的、かつ多角的な思考をもって、判断できない。	学科・専攻の教育理念に基づき、現代社会が問いかける問題に論理的、かつ多角的な思考をもって、判断することが不十分である。	学科・専攻の教育理念に基づき、現代社会が問いかける問題に論理的、かつ多角的な思考をもって、ある程度判断できる。	学科・専攻の教育理念に基づき、現代社会が問いかける問題に論理的、かつ多角的な思考をもって、十分判断できる能力がある。
④：主体性をもって多様な人々と協働する態度（「主体性・多様性・協働性」）の発展・向上	多様な価値観を認め、言語（ことば）の学修をはじめとした学びを通じて自己の認識を広げ、異なる価値観を受容することができる。	多様な価値観に対する理解がなく、共生の理念に対する理解がない。	学科・専攻の教育理念に基づき、多様な価値観に対する理解と共生の理念が明確に理解できていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、多様な価値観に対する理解と共生の理念がある程度身についている。	学科・専攻の教育理念に基づき、多様な価値観に対する理解を持ち、共生の理念を体現できている。
	他者との交流や異なる価値の受容を通じて、自己を客観視し、他者と協働することができる。	他者との交流や協働することができない。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との交流や協働を通じた異なる価値の受容や自己を客観視することが不十分である。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との交流や協働を通じた異なる価値の受容や自己を客観視することがある程度身についている。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との交流や協働を通じた異なる価値の受容や自己を客観視することが十分身についている。
	社会が必要とする職業観・勤労観と生涯を通した持続的な就業力を身につけている。	職業観や勤労観、持続可能な就業力が身についていない。	職業観や勤労観、持続可能な就業力が必ずしも身についていない。	職業観や勤労観、持続可能な就業力がある程度身についている。	職業観や勤労観、持続可能な就業力が身についている。

（3）卒業論文ルーブリック

※卒業論文にかかわる学修進度の目安です。あくまで一例ですから、詳細は各学科・専攻の教員の指導に従ってください。

		1	2	3	4	5
先行研究		国内の先行研究を把握できていない。	国内の先行研究を把握しているが、整理して説明できない。	国内の先行研究を把握し、整理して説明できる。	国外の先行研究も把握しているが、整理して説明することができない。	国内外の先行研究を把握し、整理して説明できる。
問題設定		問題の設定が曖昧である。	ある程度明確な問題を設定しているが、適切な問題であるとはいえない。	ある程度、明確で適切な問題を設定している。	適切で明確な問題を設定しているが、独創性はない。	適切で明確な問題を設定しており、独創性がある。
資料	選択	適切ではない資料を使用しているか、資料を使用していない。	適切な単一の資料（翻訳）を使用している。	適切な単一の資料（原語）を使用している。	適切な複数の資料（翻訳）を使用している。	適切な複数の資料（原語）を使用している。
	読解	ほぼ全体を通して、資料を正しく読解できていない。	資料が正確に読解できている部分とできていない部分が半々である。	７割方読解できている。	若干の問題はあるが、ほぼ正確に資料を読解できている。	資料を正確に読解できている。
	分析	資料が適切に分析できていない。	概ね適切に分析できているが、説明が不十分である。	概ね適切に分析し、それを説明することができている。	資料を適切に分析できているが、説明が不十分である。	資料を正確に分析し、それを十分に説明できている。
考察		資料の分析に基づいておらず、論理的整合性にも欠ける。	概ね資料の分析に基づいているが、論理的整合性に欠ける。	概ね資料の分析に基づき、ほぼ論理的整合性をもった考察を加えている。	資料の分析に基づき、ほぼ論理的整合性をもった考察を加えている。	資料の分析に基づき、論理的整合性をもった考察を加えている。
表現	文章化	伝達したい内容を的確に文章化できていない。	伝達したい内容を、あまり的確に文章化できていない。	伝達したい内容を、７割方は的確に文章化できている。	伝達したい内容をほぼ的確に文章化できている。	伝達した内容を全て的確に文章化できている。
	誤字・脱字	誤字・脱字が非常に多い。	誤字・脱字がやや目立つ。	誤字・脱字が３、４箇所ある。	若干（１、２箇所）の誤字・脱字がある。	誤字・脱字が全くない。
基本的技術	典拠・典拠箇所の明示	典拠・典拠箇所が殆ど明示されていない。	典拠は示されているが、典拠箇所が明示されていない。	典拠・典拠箇所の明示が欠けている部分がある。	典拠・典拠箇所がほぼ明示されている。	典拠・典拠箇所が全て明示されている。
	参考文献表の作成	参考文献がリスト化されていない。	参考文献表に欠落・余分があり、書式も適切ではない。	適切な書式ではあるが、参考文献表に欠落・余分がある。	参考文献表に欠落・余分はないが、書式が適切ではない。	適切な書式で、欠落・余分なく参考文献表が作成されている。
	論文の書式	指定の書式に全く従っていない。	指定の書式にあまり従っていない。	指定の書式に７割方従っている。	指定の書式にほぼ従っている。	指定の書式に全て従っている。

大学院文学研究科・実践真宗学研究科

（1）大学院

龍谷大学は、10の研究科を設置しています。

9専攻を擁する文学研究科（修士課程・博士後期課程）は、各分野のエキスパートである指導教員と、国内外に知られた豊富な蔵書があり、各自の専門分野の研究を深く究めることができます。

実践真宗学研究科（修士課程）は、複雑化・多様化する現代の問題に、実践的・具体的に臨む宗教者のあり方を学修し、社会的実践者にふさわしい高度な専門的素養の修得を目指します。

（2）入学試験

※入学試験の実施時期等は、2023年度までの実績です。入学試験に関する詳細については、大宮学舎・文学部教務課（大学院窓口）へお尋ねください。

（1）文学研究科（修士課程）

一定の学力基準を満たした卒業見込者を対象とする学内推薦入試（7月）に加え、外国語、専門科目、口述試験で実施する一般入試と社会人入試を秋期試験（9月）、春期試験（2月）の年2回実施しています。

（2）実践真宗学研究科（修士課程）

一定の学力基準を満たした卒業見込者を対象とする学内推薦入試（7月）、グループ討論、レポート、専門科目、面接で実施する自己推薦入試（9月~11月）、外国語、専門科目、口述試験で実施する一般入試と社会人入試を2月に実施しています。

（3）文学部生の大学院文学研究科開講科目の早期履修制度

本学文学部卒業年次生のうち、本学大学院文学研究科へ進学する者で、特に優秀で勉学意欲の旺盛な者に対する教育上の特例措置として、学士課程における修学に支障のない範囲で、本学大学院文学研究科科目の履修を認める制度です。対象科目、申請時期、単位認定等の詳細については、履修登録期間に文学部教務課掲示板等でお知らせします